

本邦對滿洲貿易狀況

524  
351

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



524  
351

大正十四年八月

# 本邦對濠洲貿易狀況

(大正十四年貿第十三號)

(印刷ヲ以テ筆記ニ代フ)

商工省商務局貿易課

524-351

## 本邦對濠洲貿易狀況

### 目 次

第一 日濠貿易關係概說	一頁
(一) 過去及現在ノ大勢	一
(二) 重要輸出入品	二
第二 濠洲一船貿易並國別貿易	五
第三 濠洲ニ於ケル製造工業	二六
第四 濠洲ニ於ケル關稅	四三
(一) 一般關稅及稅關規則	五二
(二) 特惠關稅	五三
(三) 停止關稅	五四
(四) 不當廉賣關稅	五五
第五 最近ニ於ケル濠洲ノ金融及爲替市場	五八

大正  
14. 9. 2  
内交

## 附表目次

○本邦對濠洲輸出入表.....	四
○本邦對濠洲重要輸出品價額表.....	一二
○本邦對濠洲重要輸入品額並價格表.....	一四
○對日濠洲重要品輸出額.....	一五
○對日濠洲重要品輸入額.....	一四
○本邦對各國羊毛輸入額.....	一七
○濠洲羊毛累年本邦買付一覽表.....	一八
○濠洲羊毛輸出額.....	一九
○本邦トツブ羊毛並毛織物輸入額.....	二〇
○濠洲輸出入貿易額.....	二八
○濠洲國別輸出額.....	三七
○濠洲國別輸入額.....	三九
○濠洲國別輸入額百分比.....	四〇
○濠洲國別輸入額百分比.....	四一
○濠洲品別輸出額.....	三〇

○濠洲品別輸入額.....	三一
○濠洲對重要國別輸入額.....	四二
○製造品工業總生產額.....	四九
○產業別製造工場數.....	五一
○各種產業別生產高及輸出額(七箇年間平均).....	五一
○各種產業別輸出額.....	五一
○濠洲輸出入貿易均衡.....	六一
○為替銀行負債高及正貨地金保有高.....	六一
○為替銀行預金高.....	六二

# 本邦對濠洲貿易狀況

## 第一 日濠貿易關係

### (一) 概 説

日濠間ノ貿易關係ヲ考慮スルニ當リ、兩國カ地理的ニ相隣セルコト及兩國風土並ニ產業狀況ニ大ナル差異ノ存スルコトハ兩國ノ經濟的結合ヲ鞏固且ツ促進スル重要ナル要素トシテ最モ注目スヘキモノナルヘシ、即チ濠洲ハ日本ヲ去ルコト三、八一五海里遠ク南半球ノ一隅ニ偏在スルモ、而モ其ノ日本トノ距離ハ近代的產業國タル歐洲大陸諸國及北米合衆國ノノレニ比シテ尙近キニ在リ、即チ日本ハ地理的ニ孤立セル濠洲ニ對シ最モ密接ナル關係ニ在リトナスヘク換言セハ地ノ利ヲ有スト云フヲ得、而テ僅ニ五四〇萬ノ人口ヲ我國國土ノ約十一倍ニ當ル四十九萬方里ノ廣大ナル領域ニ擁シ而モ農產、畜產、鑛產物ノ無限ナル寶庫ヲ有スル濠洲ヲ我日本ノ溢出セントスル人口天惠ナキ產業資源ニ比スルトキハ其ノ對聯的ナル兩國性情ノ差異ニ一喫セサルヲ得サルナリ

日本ハ原料生產國ノ地位ニアル濠洲ニ羊毛、小麥、鉛、亞鉛等ヲ仰キ濠洲ハ日本ニ綢織物、綿織物、陶磁器、硝子、莫大小製品、叢具、ブラツシユノ如キ工業製作品ヲ需要ス、即チ日濠間ノ貿易關係ハ原料國及工業國間ノ交易ニシテ本邦ハ比較的幼稚ナル製造工業ヲ有スルト雖モ尙濠洲ノ製造工業ニ比較スルトキハ工業國タルノ地位ヲ有ス濠洲ノ稀少ナル人口ニ緣由スル勞働量ノ缺乏ハ勞働賃金ヲ高價ナラシメ生産費ヲ昂騰セシムル處アリテ製造工業ヲ有ス力ニ發達セシムルニ至ラス其ノ進歩ノ道程遅々タルモノアルナリ、人口ニ反比例シテ巨大ナル物資ヲ有スル濠洲ハ製

造工業ノ發達セサルニヨリ産業的自給自足ニ欠クル處アリ從ツテ工業品ヲ歐大陸諸國、北米合衆國等ニ仰クノ地位ニアルナリ

然シテ現時ノ濠洲カ政府ノ企圖シツツアルカ如ク漸次工業國ニ成長スルノ曉日本トノ貿易ノ如キ如何ニ變遷スヘキヤハ將來ノ問題トシテ慎密ナル考慮ヲ要スルモノト謂フヘシ

由來濠洲ノ地タルヤ殖民地ナル上ニ移民勞働者多數ヲ占ムル關係ヨリシテ勞働者階級ノ勢力大ニシテ其ノ對外政策ハ多分ノ排他的色彩ヲ有ス、是等ノ傾向ハ直チニ國策ニ反映シテ濠洲政府ハ有名ナル白人濠洲主義ヲ執リ濃厚ナル產業保護政策ヲ踏襲シツツアリ、濠洲ノ關稅制度ノ如キ其ノ一端ヲ示スモノニシテ、殊ニ英國トノ間ニ特惠關稅制度ノ存在スル如キハ英國ニ對シ他諸國ノ貿易上ノ追蹤ヲ許ササルモノアリ、即チ一九二二一二三年度ニ於ケル濠洲輸入總額一億三千百七十五萬磅中英本國ハ其ノ五割一分タル六千八百三十九萬磅ヲ占メ、其ノ屬領ヲ併ストキハ總輸入額ノ六割三分ヲ占ムルノ狀況ニアリ、本邦ノ一九二二一二三年度對濠輸出額三百九十三磅ニシテ濠洲總輸入額ノ僅ニ二分九厘ニ當ルニ比スル時ハ其ノ間大ナル逕庭ノ存スヲ知ル、即チ本邦ハ對濠貿易ニ於テ現在何等ノ關稅上ノ特惠ヲ受クルコトナク、然モ稍々モスレハ人種的ニ困難ナル地位ニ立タンツスル傾向ニアルハ、前述ノ我ノ有スル利益ニ反シテ不利益ナル點ト謂フヲ得ヘク、將來關稅協定ノ問題トシテ或ハ衡平待遇ノ問題トシテ考慮ヲ要スル處ナルヘシ

## (二) 現在及過去ノ大勢

本邦ノ對濠洲總貿易額ハ大正十三年ニ於テ一億六千百八十七萬圓ニシテ對濠輸出額ハ四千百九十萬圓我カ總輸出額ノ二分三厘ヲ占メ、對濠輸入額ハ一億千九百九十七萬圓我カ總輸入額ノ四分八厘ニ當ル、即チ本邦ノ對濠洲貿易ハ七八百六萬圓ノ入超ヲ示ス、然シテ輸出相手國トシテ濠洲ノ地位ヲ見ルニ、第九位ニ居リ北米、支那、英領印度、佛

國、香港、關東州、英吉利、蘭領印度ニ亞クノ狀況ニアリ、輸入相手國トシテハ第七位ニシテ北米、英領印度、英吉利、支那、關東州、獨逸ニ亞ク

然シテ大正十三年度對濠輸出品中輸出額五十萬圓以上ノモノヲ掲クレハ絹織物(一千三百二十八萬圓)、綿織物(七百七十四萬圓)、木材(百五十萬圓)、陶磁器(百三萬圓)、莫大小製品(八十七萬圓)、硝子及同製品(七十萬圓)、生絲(十五萬圓)、瓶具(五十萬圓)ナリトス、濠洲ヨリノ重要輸入品ハ羊毛(六千六百十四萬圓)、小麥(三千十四萬圓)亞鉛(六百十四萬圓)、鉛(五百五萬圓)、硫酸アムモニユウム(三十四萬圓)ナリ、濠洲貿易ニ於ケル本邦ノ地位ヲ見ルニ一九二二二三年ニ於テ貿易總額ニ於テ英、米、佛ニ亞キ第四位ニシテ輸出ニ於テ英、佛、米ニ亞キ第四位、濠洲總輸出額ノ七分九厘ニ當ル、輸入ニ於テハ英、米、蘭領印度ニ亞キ第四位、濠洲總輸入額ノ二分九厘ニ當ル

次ニ本邦對濠貿易カ初メテ我カ稅關統計ニ計上セラレタル明治十年以降ノ大勢ヲ見ルニ先ツ輸出ニアリテハ明治十年ニ二萬六千圓ニシテ我カ總貿易額ノ一厘ニ過キサリシニ明治二十年ニハ五十三萬圓ニシテ總輸出額ノ一分トナリ明治三十年ニハ百八十七萬圓、明治四十年ニハ四百七十九萬圓トナリ次テ大正七年ニハ六千四百八十二萬圓ニ達シ總輸出額ノ三分二厘ヲ占メ對濠輸出ノ最盛時代ヲ形成シ大正十三年ニハ四千百九十萬圓ニシテ總輸出額ノ二分三厘ヲ占メタリ

又對濠輸入貿易ハ明治十年ニ二萬三千圓、總輸入額ノ一厘ヨリ二十年ノ三十二萬圓、三十年ノ八十九萬圓、四十年ノ七百八十一萬圓、總輸出額ノ一分六厘トナリ大正七年ノ四千八百八十七萬圓、大正十三年ニハ一億一千九十九萬圓、總輸入額ノ四分八厘ニ達セルナリ

然シテ本邦ノ對濠貿易ハ明治十年ヨリ三十五年ニ至ル間ヲ除キ爾來常ニ輸入超過ヲ示シ僅ニ戰時ノ最盛期タル大正七年

年ニ於テ輸出超過ヲ見タルニ過キス是レ本邦ハ羊毛ノ供給ヲ濠洲ニ仰クコト多大ナルニ原因セリ  
今明治十年來最近迄累年ノ我カ對濠貿易額ヲ記セハ次表ノ如シ

本邦對濠洲輸出入表 (單位圓)

年	次	輸出品價	對總輸出額%	輸入品價	對總輸入額%	輸出入品價計	差引出入超
明治十一年		三、三九	○一 (十一年)三、三六	○一	○一	四九、五九七	出 三、二二
同十五年		一六〇、三三	○四	一〇	一〇	三四四、六三五	出 八、〇三一
同二十一年		三五五、八三	○八	三三、二五五	○一	五七、三四七	出 五〇、八七
同二十五年		七三一、六九	○八	二七三、七八	○四	一、〇〇四、四六六	出 四五八、八七三
同三十年		一、八七五、一〇	一〇	八九七、〇五〇	○四	二、七三、三三〇	出 九六、一三〇
同三十五年		三、一七三、〇九三	一三	一、六七三、二八	○六	四、八四、三二一	出 一、四九九、八七五
同四十年		四、七九三、九〇三	一六	七、八一八、七五五	一六	一三、六二三、六五五	出 三、〇三四、八五〇
大正元年		八、六三八、九四	一六	一三、九一、九八五	一六	三、四〇、九二九	入 四、一六三、五一
同二年		八、六三七、九四	一四	一四、九四三、一四五	一四	三三、五一、一九九	入 六、三〇五、一七一
同三年		一〇、六六八、五九五	一八	一四、五八〇、四九八	一四	三五、四四九、〇五三	入 三、七一、九三
同四年		一八、〇九八、五〇一	二六	二八、五七一、四六六	二四	四六、六九、七七七	入 一〇、四七三、一六五
同五年		二七、七三、六八八	二九	三三、五三三、六三六	五三	七二、一〇九、三四六	入 一五、五五六、〇三〇
同六年		七七、三八九、一四	一七	三三、九三四、五〇三	五七	六〇、三三、六四六	入 五、六四五、五八
(三) 本邦對濠洲重要輸出入品							
對濠貿易上ニ於ケル重要商品ニ就キ觀察スルニ本邦對濠輸出品トシテハ絹織物、綿織物、木材、陶磁器、莫大小製品、硝子及同製品、瓶具、ブラツシユ、製帽用真田、鋸鉗、樟腦等ニシテ本邦對濠輸入品トシテハ羊毛、小麥、亞鉛、鉛、粗製硫酸アンモニユウム等ナリ、以下逐次是等重要商品ニ就キ輸出入別ニ考察シ併セテ外國品トノ競争狀況ニ就キテモ一言スル處アラントス							

### 重要輸出品

#### ○絹織物

本邦對外貿易品ノ大宗タル絹織物ハ對濠貿易ニ於テモ其期待ヲ裏切ルコトナクシテ大正十三年度ニ於ケル輸出額ハ二千三百二十八萬圓ニ達シ本邦對濠洲總貿易額ノ五割五分ヲ占メ大正八年ノ輸出額九百三十萬圓總貿易額ノ三割ナリシニ比スル時ハ大ナル增加ヲナシタルヲ見ル、然シテ逐年漸増のニ健實ナル發達ヲナシツツアルハ最モ意ヲ強カラシムモ一言スル處アラントス

ル處タリ、然シテ是等絹織物ノ大部分ヲ占ムルモノハ富士絹ニシテ大正十三年度ノ本邦富士絹輸出カ殆ト全部濱洲ニ輸出セラレタルヲ以テ之ヲ見ルヘシ

然シテ濱洲ニ於ケル富士絹ノ需要ハ頗ル廣汎ニシテ婦人ノ約六割ハ本品ヲ着用シ衣服ノミナラス寢衣ニモ使用セラルニ至リ、衣類用地トシテ最モ普偏的トナレリ、然シテ富士絹カスノ如キ聲價ヲ得ツツアル所以ハ絹ニシテ羽二重ノ如ク高價ナラス、而モ羽二重等ト異リ洗濯ヲナスコトニヨリ益々其ノ特質ヲ發揮スル等其ノ經濟的ナルコトニヨルナリ、然シテ本邦產富士絹ハ當初ハ目方モ重ク品質良好ナリシモ近時品質下落シテ輕目ノモノ輸入セラレ富士絹ノ特質タル洗濯ノ利カサルカ如キモノヲ見ルニ至レリト云フ

最近富士絹ニ對スル輸出検査勵行ノ稱道セラル折柄、其ノ目方ニ制限ヲ付スルノ方法ノ如キ最モ必要ナリトスヘシ次ニ濱洲絹織物類市場ニ於ケル本邦品ノ位置ヲ觀察スルニ一九二二一二三年度ニ於ケル濱洲ノ絹織物總輸入額四百十五萬磅ノ中日本ヨリ輸入セラレタルハ百九十二萬磅ニシテ總額ノ約五割ヲ占メ居レリ、本邦ト競争ノ地位ニアルハ英、佛、支、伊、瑞西等ナルモ本邦品ハ主トシ日常用ニシテ英ノ良質、伊、佛、瑞西ノ優雅ナルモノトハ自ラ用途ヲ異ニスル處アルナリ

本品ニ對スル關稅ハ特惠關稅及中間關稅率共ニ從價十五%ニシテ一般關稅率二十%トノ間ニ大ナル相違ナシト雖モ中關稅率トナスヘキ交渉必要ナリト觀測セラル、然シテ生絲絹織物ノ北米合衆國ヘノ販路、既ニ行詰レリト稱ヘラルル最近ニ於テ絹織物當業者ハ濱洲ヲ新市場トシテ更ニ彼地住民ノ生活程度ノ高キコトヲ利用シテ、本邦品ノ販路擴張ヲ圖ルコト其ノ最緊急事ナリト云フヘシ

### ○綿 織 物

大正十三年ニ於クル綿織物ノ輸出ハ七百七十四萬圓ニシテ絹織物ニ亞キ對濱洲輸出品中最重要ナル地位ヲ占メ居レリ、然シテ本品ノ年度別輸出ノ消長ヲ見ルニ大正八年ニハ千八十三萬圓ニ達シ該年度輸出品中ノ首位ヲ占メタリシカ大正九年ニ至リテ激減シ然モ其ノ後徐々シテ恢復ノ一路ヲ辿リツツアリ

我國輸出ノ綿織物中最モ多キハ染又ハ捺染綿縮ニシテ生綿布ノ如キハ小量ニ止ル、カリコハ小麦袋等ニ使用セラレ將來有望ナルモノナリ、タオル、テーブルクロース等ニ使用セラル綿織物、或ハコールン、防水布ノ輸出ハ少シ各種類ノ綿布ヲ通シ英國品ハ常ニ首位ヲ占メ、之ニ亞クハ戰前ニハ獨、米、瑞西ノ諸國ナリシモ戰時中ヨリ以後ハ日本、米國之ニ代リ英ニ亞クノ輸出國タルニ至レリ、一九二二一二三年ノ綿布類總輸入額一千二百十一萬五千四百十八磅中英國品ハ一千七十五萬五千五百四十九磅ヲ占メ、日本ハ六十萬二千六百三十七磅、米國ハ五十萬五千百六十三磅ニテ白、佛、瑞西之ニ亞キ居レリ、即チ綿織物ニ關シテハ濱洲ハ完全ニ英國ノ市場ナリトモ稱シ得ヘシ

品 目	輸 出 額	總輸入額ニ對スル率	輸出國ノ順位
生 金 巾	一五一、〇五五磅	二〇%	英、日、米
白 金 布	三六、二六四	一	英、日、米、瑞西
ツ ウ イ ド	七四、八六二	四〇	英、日、米、白
染 又 ハ 捺 染 綿 布	三二八、六二三	五	英、日、米、佛、白、瑞西
莫 大 小	六七、三三五	一〇	英、米、日、瑞西
靴 下 類	一一、九八四	三	英、米、日、獨

尙戦時中英ト畧同額、輸入アリテ現今殆ト輸入杜絶セルハ帆布類ニシテ一九一八年ニハ英ノ輸入四十九萬二千六百六十八磅ニ對シ日本品ハ三十二萬八千二百十五磅、米ハ十六萬五千三十二磅ナリシモ一九二二一二三年ニ至リテハ英國品九十八萬三千九十五磅ニ對シ日本品四千六百十二磅、米國品九萬九千八百八十七磅トナレリ

綿布ニ對スル特惠税率ト一般關稅トノ差異ハ著シキモノアリ、前者ハ無稅ナルモ一般稅率ハ十五%ニシテ英國以外殆ト他國品ノ浸入ヲ許ササルカ如シ

尙綿絲ニ就テハ戰前戰後ヲ通シ大部分英國ヨリ輸入セラル、唯戰前ニハ獨逸品戰時中及以後ニハ日本、印度、米國品ノ小額輸入セラル、綿絲ノ輸入數量ハ近年濠洲ノ織維工業ノ發達ニ伴ヒ漸次增加スルノ狀況ニアルナリ

#### ○莫大小類製品

大正二年ニ於ケル本品ノ對濠輸出額ハ僅ニ十一萬圓ニ過キサリシニ戰時中激増シ大正八年ニハ百四萬圓トナリ大正九年ノ最盛期ニハ二百一萬圓ニ達シタリ、其ノ後次第ニ減少シテ大正十二年ニハ七八萬圓大正十三年度ニハ八十七萬圓ノ輸出ヲ見タリ

本邦メリヤス製品ハシドニー、メルボルン以外ノ田舎向キ及中流階級以下ニ於テ主トシテ需要セラレツツアリ、然レトモ問屋筋トシテハシドニー於テハ本邦製品中男物、メルボルンニ於テハ男物並ニ僅少ナレトモ女物カ取引セラルル狀態ナリ、氣候ノ關係上概シテシドニー於テハ薄物ヲメルボルンニ於テハ厚物需要セラル、女物中ナイトドレス、スパンサー(外套)ボデイス(婦人ノ胸衣)等ハ流行遲レノ爲今日ニ於テハ殆ト賣行ナクカミソル(婦人常用ノ短衣)ニ關シテハ極メテ小量田舎向トシテ需要セラルルノミ、海水着ハ尙相當ノ販路ヲ有ス、本邦產シャツ、パンツハ中等品竝ニ安物ニ就キ需要多ク靴下モ労働者向ノ安物ナリ、要スルニ本邦メリヤス製品中婦人物ハ概シテ需要ナク、現在

將來共見込アリト云フヘキハ中等品以下ノシャツ、パンツ、晒半パンツ、海水着、ランニングシャツ、安物靴下等ナリ

英、米兩國ヨリ輸出スルメリヤス製品ハ數量價格共ニ本邦品ヲ凌駕シ米國ヨリハ裏毛物殊ニ裏地物多ク輸出セラレ英國ヨリハ毛、綿、絹メリヤス製品ニ對シ需要多シ、要スルニ英米兩國ヨリ輸出スルモノハ毛、絹ヲ別トシ綿メリヤスハ主トシテ上物取引セラレ居レリ

#### ○木 材

木材ノ對濠輸出額ハ大正二年ニ於テハ四十九萬圓ニ過キス、大正十一年ニハ百二十七萬圓トナリ十二年ニハ百十四萬圓、大正十三度ニ於テハ百五十萬圓ニ達シ絹織物綿織物ニ亞クノ重要輸出品トナレリ、輸出木材ノ重ナルモノハ主トシテ橋ノベニヤ板ニシテ室内裝飾用トシテ卓子、戸棚、窓飾、蓄音機、鏡板等ニ使用セラレ、其ノ將來ヲ有望視セラルル處ナリトス、然シテ我國ト競爭ノ地位ニ立ツハ加奈陀、瑞典、新西蘭、比律賓等ニシテ加奈陀、瑞典ハ松ノベニヤ板、又ハ家屋建築用材ヲ供給シ其ノ用途自ラ我ト異ルモノアリト雖モ加奈陀ハ輸出木材ニ關シ特惠關稅ニ均霑シ、新西蘭又特惠ヲ受クルアリテ我國ハ大ニ不利ナル地位ニアルナリ、次ニ木材市場トシテノ濠洲ヲ考察スルニ、濠洲ハ由來有加利樹ノ系統ニ屬スル硬木ヲ無限ニ包藏スルモ、往時ノ初期移住民ハ軟木ヲ使用ニ便ナリトシテ濫伐シタル結果現今軟木ハ濠洲聯邦ノ需要ニ應スル能ハスシテ軟木ノ輸入ハ硬木ノ輸出ヲ遙ニ凌駕セリ、指物業者ノ如キハ輸入ノ軟木材ヲ使用スルヲ好ミ且ツ此種家具類ハ濠洲產硬木ニテ製造セルモノヨリ安價ナルニヨリ需要大ナリ、濠洲ニ於テ多量ノ木材ヲ消費スルノ理由ハ各州首都以外濠洲人ハ概ネ木造家屋ニ住居スルコト、諸市以外ニ於ケル橋梁ノ木造ナルコト、燃料ニ使用スルコト等ニ因ル、輸入木材ハ主トシテ建築物並ニ住家ノ内部ニ使用セラル

## ○陶 磁 器

大正十三年度ニ於ケル輸出額ハ百三萬圓ニ上ル、然シテ大正九年度ニ於ケル二百九十九萬圓ニ比スル時ハ約三分ノ一ニ減シタルヲ見ル、本邦品ハ主トシテ、ダイセツト、カツブ、ソーサー或ハバン、バター容器等ニシテ其ノ強味ハ安價ナルニアリト云フモ、脆弱ニシテ燒キノ足ラサル缺點ヲ有スト云フ、然シテ、濠州人ノ生活程度ノ高キニヨル高尚品ノ需要ハ主トシテ英國品ニ向ヒツツアルモ、日本特有ノ典雅ナル高等品モ、亦其ノ販路ヲ見出スコト苦痛ニ非ルヘシ、一九二二一二三年度ニ於ケル陶磁器ノ總輸入額三十三萬磅内外ナル處、右ノ中英國品ハ二十萬磅日本品ハ十萬磅ヲ占ムルノ狀況ニアリ、然シテチエコスロヴアキアノ輸出品モ現出シ來リ尙小額ニ止リ居ルモ將來英國品ト同ク本邦ノ競争品トナルニ至ルヘシ、更ニ獨逸品ニ關シテハダンビング防止法ノ爲未タ濠洲市場ニ輸出ヲ見ルニ至ラスト雖モ近時獨逸カ大量生産ヲ利用シテ相隣セル南洋方面ノ市場ヲ脅威シツツアルニ鑑ミル時ハ獨逸モ亦將來ノ有力ナル競争者タルニ至ルヘシ、然レ共獨逸品ハ大量的生産ノ結果、製品ノ型式模様劃一的ニシテ好尙ニ適セサルノ傾向ヲ有ストセメントハ近時濠洲政府保護ノ下ニセメント工業發達シ且ツ英國品ノ爲ニ全ク壓倒セラレ殆ト輸出ナキニ至リタリ、且ツ新西蘭トノ間ニモ本品ニ關スル特惠關稅適用セラルルニ至リタル爲同國品モ入り來リ結局、品質、價格共ニ本邦ハ不利ナル立場ニ立ツニ至レリ

## ○硝子及同製品

大正十三年度ニ於ケル輸出額ハ七十萬圓ニシテ我カ對濠輸出ノ盛ナリシ大正九年ノ輸出額二百八十九萬圓ニ比スル時ハ四分ノ一ニ減シタリ、是レ一面ニ於テチエツコスロヴアキア及白國佛國品ノ輸入增加シ來レル爲ナリ、然レ共本品ハ本邦商品中相當當地ニ地盤ヲ有スルモニシテ日本品ノ名聲尙高ク硝子瓶、フラスコ、ジャーニニツキテハ各國中

第一ニアリ是レ我國ノ製品カ實用向ニシテ技術上日用品トシテハ缺點ナキニヨルモノナリ、特惠關稅ハ一般關稅ニ比シ約半ハニ過キサルモ我ノ有スル地ノ利ヲ活用シ遺憾ナキニ於テハ有望ナルヘシ

## ○瓶 具

大正十三年度ニ於ケル輸出高ハ五十萬圓ニシテ大正十一年ノ一百萬圓ニ比スル時ハ半減セリ本邦品ハセルロイド製又ハゴム製品ニシテ一般ニ精巧ナラス、且ツ破壞シ易シ然シテ中歐諸國ハ瓶具ノ有力ナル輸出國ナリシモ現今ハ獨逸気ンピング防止法ノ爲輸出ヲ見ルニ至ラス今後同地方ノ經濟的恢復ヲ見ルニ至ラハ日本品ハ一層製造上ノ注意ヲ怠ルヘカラサルナリ、一九二二一二三年ニ於テハ對濠瓶具輸出國中本邦ハ其ノ首位ニアリテ其ノ額十萬磅ニ達シ英國之ニ次キ九萬磅米獨之ニ次キタリ

## ○帽子真田類及植物性產品

帽子真田類ノ大正十三年度輸出額七萬三千三百四十六磅ナリ、戰時及戰後ハ電線、電氣器具、エナメル器具、ランプ器具、葉鐵等ノ輸出額相當多ク八十四萬磅ヲ算シタルモ前年末激減シ今日ニ於テハ殆ト昔日ノ影ヲ止メス、僅ニ電氣用器具、ランプ器具ニ過キス、本邦工業ノ地位ヲ以テシテハ當方面ノ市場開拓ハ困難トセラレ目下英、米品ノ輸入ヲ主トセラル

## ○金屬器具類

一九二二一二三年度輸出額二十九萬圓ニシテ大正十一年度ノ四十二萬圓ニ比スル時ハ大ニ減少セルモ尙本邦ヨリ最モ多ク輸入セラルルモノニシテ主トシテ小商人ノ取扱ニ屬ス、尙一九二二一二三年ノ間ニ於テ屑棉花三萬五千磅輸入セラレ機械掃除用トシテ需要多ク、自働車等ノ使用盛トナルニ至ラハ其ノ掃除用トシテモ相當賣行アルヘシト觀測セラル

## ◎紙類及文房具

一九二二一二三年度輸出額ハ二萬五千五十二磅ニシテ現時本邦ヨリ文房具多少輸出セラルルモ何等特長アルモノナク、萬年筆、鉛筆類多少輸出セラルルノミ

## ◎小間物類化粧品

一九二二一二三年度ノ輸出額十七萬四千四百七十七磅ナリ小間物類中ニハ運動器具、魚釣具、飾鉗、ハツトビン、シガレットケース、櫛、煙草道具、瓶具等ヲ含ム、本邦ヨリ輸出多キハ瓶具ニシテ上述セル所ナリ、煙草道具ハ本邦ヨリノ輸出少額ニシテ英、佛品多ク化粧道具ハ本邦ヨリノ輸出七千磅ニシテ英ノ五萬磅ニ亞ケリ、一般小間物類ハ英、佛、米、致須國ニ次クモ僅少ナリ

## ◎トランク、ブラツシュ、燐寸

一九二二一二三年度輸出額十七萬二千三百七十三磅ニシテバツグ、トランク等ハ小量ノ輸入ナルモ婦人用ノバツグハ多少望アリトセラル、ブラツシュハ英ニ次キ輸入セラレ其ノ額四萬磅ニ達セリ主トシテ頭髮用ニシテ齒ブラツシュハ小量ナリ燐寸ニ關シテハ一九二一一二二年度ニ於テハ全ク悲境ニ陥リタルモ本年度八千三百磅ノ輸出ヲ見タリ尤モ一九二二一二三年度ニ於テハ燐寸ノ輸入ハ全體ニ増加シタルニ注目スヘク其ノ大部分ハ瑞典物ナリ Straw envelopes ハ一九二一一二二二年度輸入多カラサリシモ一九二二一二三年度ニ於テハ一萬二千磅ノ輸出ヲ見タリ多クメルボン商人ノ取扱フ處ニ係ル

本邦對濱州重要輸出品價額表  
(單位千圓)

	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年	大正八年	大正二年
品目	三、八三	一四、一六	一七、八三	一〇、九三	一九、七〇六	九、三〇一	二、〇一三
絹織物	七、七五	五、六四	六、三九〇	三、八毛	三、八三七	一〇、八三七	五八
綿織物	一、五八	一、四一	一、三五	一、四毛	一、九五	一、四八六	四九
木陶磁器	一、〇三	一、〇三	一、四毛	九六	二、〇一三	一、〇四〇	一西
莫大小製品	八三	六六	一、三六	五四	二、八九三	一、一六一	二六
硝子及同製品	七四	八〇	九八	一	三六	四〇	六
生絲	五九	四三	九八	一	一	一	一
覈具	五八	五〇	五四	三〇	一、二四	六四〇	一
ブラツシュ	四一	四一	五四	三三	五一九	二八三	一
製帽用真田鉢	三七	三七	三九	三〇	三〇九	三三四	一
植物性脂肪油	三三	三三	三九	三〇	三〇九	三三	一
絹製手巾	三三	三三	三九	三〇	三〇九	三三	一
機械及同部分品	一九	一九	一七	一七	一七	一七	一
樟腦	一九	一九	一七	一七	一七	一七	一
ランプ及同部分品	一九	一九	一七	一七	一七	一七	一

○羊

本邦ノ羊毛ニ於テ大正二年ニ於テハ本邦ノ羊毛需要額ハ激増シ來リ大戰前大正二年ニ於テハ本邦ノ羊毛

ノ總輸入額ハ千百九十九萬圓其ノ六割七分ニ當ル七百九十九萬圓ヲ濠洲ヨリ輸入セルカ大正十一年ニ至リテハ濠洲ヨリノ輸入額四千五百六十七萬圓大正十二年ニ於テハ六千六十七萬圓大正十三年度ニ於テハ六千六百十四萬圓ニシテ本邦羊毛總輸入額八千八百四萬圓ノ七割五分ヲ占ムルニ至レリ

ノ獨占的生產地ナリ、濠洲ニ於ケル綿羊頭數ハ一九一一年ニ於テハ九千三百萬頭ニ上リ一九二一年ニ於テハ七千九百萬頭算シ居レリ、濠洲ヨリノ本邦ニ輸入セラルル羊毛ハ彼ノ有名ナルメリノ種羊毛ニシテ我カ毛斯綸製織ノ必需的材料ナリ、然シテ本邦濠洲間ノ運賃ハ本邦倫敦間、又ハ本邦南阿間ニ比シ廉ク距離近キ爲危險モ少ク一箇月内外ニテ輸入シ得ラルル上ニ毎月競賣行ハルル爲隨時必要ニ應シテ買入ルルコトヲ得ルノ特長ヲモ有スルナリ、濠洲ハ現時世界羊毛產出國ノ首位ニアリ、即チ世界ノ羊毛產額ハ一九一二年ノ三十四億八千四百萬封度ヲ最高トシ一九一五年度ニ於テハ三十一億六百萬封度トナリ翌一六年ニハ二十八億三千三百萬封度ト漸減シ以來漸減傾向ヲ辿リツツアリ、一九二三年ニ於テハ二十六億四百萬封度其内濠洲ハ六億七千萬封度ヲ產出シ世界產額ノ二割五分ヲ占メ居レリ

別  
戦前一ヶ年平均

產地別	一九二二年	一九二三年	一九二四年
北米	二八三、八七五	二八二、四二九	二四六、〇九五
南米	三三三、三二〇	四一三、六六〇	二一一、五六七
歐洲	五八七、三五〇	四三四、八二三	二四七、二六五
亞弗利加	八四四、六三五	五一五、五五九	二四六、〇九五

一九二一年度濠洲ニ於ケル羊飼養數七千九百萬頭中ノ四割三分ハサウスエールスニ割三分ハクインスランドニ割六分ハヴィクトリア八分ハ南部及西部二分ハタスマニアニ於テ飼養セラル、一九二一年迄ノ飼養頭數羊毛生産量一頭當リ羊毛量ヲ示セハ左ノ如シ

年	度	羊頭數	羊毛生產量	一頭當リ
一八八〇年	六二、一七六千頭	三三四、二八六千封度	五、二封度	一六
一九〇〇年	七〇、六〇三	四〇九、三九五	五、八	六七〇、〇〇〇
一九一〇年	九二、〇四七	七一一、二九五	七、八	四一三、四一六
一九一三年	八五、〇五七	七一、一三四	八、三	四一四、二七〇
一九一九年	八七、九二六	七三三、一三二	八、三	二、六〇四、九一
一九二一年	七九、〇二一	六五八、四五四	八、三	二、六七〇、九二八

濠洲羊毛ハ最モ精撰セラルモノニシテ即チ原毛ハ第一ニ其ノ毛被ヲ除去シ品位ニヨリ撰別シ剪斷機ニカケ然ル後各產地ノ市場ニ於テ競賣ノ方法ニヨリ取引セラルモノナリ、シドニー、メルボルン、ブリスベーン、アデレートハ市場ノ重要ナルモノニシテ是等ノ競賣市場ハ毎年九月上旬ニ始リ三月下旬ニ終ルヲ例トス

歐洲大戰中英國政府ハ需要ノ激増ヲ見越シテ競賣市場ヲ停止シテ濠洲羊毛ヲ徵發セリ

戰後財界ノ不況トナルヤ一九二一年一月 The British Australian Wool Realization Association (所謂 Bowra) 即チ英濠羊毛賣捌協會ヲ設立シ政府ノ羊毛管理ヲ廢シテ之ニ移シ以テ賣急キヨリ來ル不自然ノ競爭ヲ避ケ市價ヲ支持セシメタルナリ、蓋シ羊毛ノ價格タルヤ世界的需給ノ關係ニヨリ支配セラレ其ノ騰落ハ豫期スヘカラス、世界ノ產毛額ハ逐年漸減ノ趨勢ニシテ近年ノ收量ハ戰前一ヶ年平均收量ニ比スル時ハ約四億封度ノ減少ヲ示セリ、此間ニ在リテ英國カ其ノ羊毛ニ關スル獨占的地位ヲ利用シテ上述ノ如キ商策ニヨリ市價ノ吊上ヲ試ミントスルハ消費國ノ地位ニアル本邦トシ最モ注目スヘキ事タルヘシ、本邦トシテハメリノ種羊毛ノ如キ高價ナル優良羊毛ノ輸入ヲ抑制シテ雜種羊毛ヲ輸入シ之ニ加工スルヲ得ル如ク發達セシムルコト必要ナリトセラル

最近ニ於ケル倫敦羊毛市場ノ不況ト共ニ濠洲ノソレモ甚タ不振ニシテ一五%乃至一〇%ノ下落ヲ來シ過日開カルヘカリシアデレート、ブリスベーン市場共ニ閉鎖ノ已ムナキニ至レリ故ニ五月八日メルボルンニ於ケル羊毛仲買組合並羊毛生産者組合協議會ハ全濠洲ヲ通シ七月一日迄市場ヲ一時閉鎖スルニ決定セリ、目下ノ事情ハ羊毛關係者ノミナラス銀行界海運界ニモ多大ノ不安ヲ與ヘ居レリ

本邦對各國羊毛輸入額 (單位 數量擔、價額千圓)

仕出地	大正十年				大正十一年				大正十二年				大正十三年			
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
濠洲	三一四、一九四	六、五五六	四八三、五五〇	四五、六七三	四五、三五〇	六〇、六七三	四四、四七	六、一九九	二七三、一四六	二七三、一四六	二一、六七〇	九〇三、六二〇	七九四、三二三	一六	六七〇、〇〇〇	
英國	一六、三〇一	三、一九九	五、五五〇	五、五五〇	五、五五〇	五〇、〇三四	一三、六五	七〇、一九九	三、一六六、六三八	四一三、四一六	四一三、四一六	二一、六七〇、九二八	二、六〇四、九一	二、六〇四、九一	二、六〇四、九一	
支那	三、八〇七	五五	一五、九〇一	一五、九〇一	一五、四六	一、三七	一五、六五三	一、一六三	一七	一七	一七	一六、一六三	一六、一六三	一六、一六三	一六、一六三	一六、一六三

	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	五箇年總計
總計	四三、七六六、七五五	五〇、五四三、八〇三	三三、七六〇、七六〇	四七、九七七、二四三	五七、一三八、七六四	二三三、二〇七、三三五	一一七、三二二	二三三、二〇七、三三五
其 他	三七、三一五	一五四、四四五	四五、一九一	五〇、三四三	二一、四八七	四八、一八四	八一、八一八	六一三、八一九
度	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、四〇四、八三三	三、四四八、〇三二	一八四、三五五	一八四、一六七	一八五、二六四
埃 埃	六一三、八一四	三三、九三四	二、八三三、九五一	一、一六四、二八〇	一、一六四、〇六五	三、七八四、〇六五	六、〇九五、六一六	一〇、四〇八、一九五
加 埃	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八〇、五二九	一、三五七、三五八	一、三五七、三五八
獨 陀	六一三、八一四	三三、九三四	二、八三三、九五一	一、一六四、二八〇	一、一六四、〇六五	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
伊 逸	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
白 耳	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
佛 蘭	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
北 米 合 衆	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
國 國	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
本 國	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
英 本	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八
仕 出	六一三、八一四	三三、五三〇	三六四、一九六	二、六六七、〇八一	二、五一四、七一七	三、七八四、〇六五	六、八四三、二六五	一、三五七、三五八

(備考) 一九一三年迄ハ曆年、其他ハ七月ヨリ六月ニ至ル年度ナリ

並毛織物輸入額  
(單位數量封度、價額圓)

(單立數量封度、價額圓)

毛織物類	累計	トツブ以外ノ羊毛		
		合計	價額	数量
一、三四五、三二二	一、三四五、三二二	一、三四五、三二二	一、三四五、三二二	一、三四五、三二二
四、八六四、三五五	四、八六四、三五五	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
四、八三八、六七一	四、八三八、六七一	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
五、〇一八、五七〇	五、〇一八、五七〇	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
一、二、三三八、二二三	一、二、三三八、二二三	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
三、一、三〇八、六二一	三、一、三〇八、六二一	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
三一、六一〇、七〇一	三一、六一〇、七〇一	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
一七、三五七、二四四	一七、三五七、二四四	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
一四、三五三、四五七	一四、三五三、四五七	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
三三、七一八、五七五	三三、七一八、五七五	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
九、七四三、五五五	九、七四三、五五五	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
一八、九三〇、〇六七	一八、九三〇、〇六七	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
九一九、〇三三	九一九、〇三三	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
二、七二二、六八七	二、七二二、六八七	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九	一、〇六三、三九九
		一	一	一

本邦トップ羊毛並毛織物輸入額  
(単位數量封度、價額圓)

本邦トツブ羊毛並毛織物輸入額 (單位數量封度、價額圓)

次 元 年 正 治 元 十 年 正 治 二 十 年 正 治 三 十 年 正 治 四 十 年 正 治 元 年 正 治 二 年 正 治 三 年 正 治 四 年 正 治 五 年 正 治 六 年 正 治 七 年 正 治 八 年 正 治 九 年 正 治 十 年 正 治 十一 年 正 治 十二 年	トツブ			トツブ以外ノ羊毛			合計			毛織物類			累計		
	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量	價 額	數 量
一〇、三五九、四六七	二、六三二、〇八八	五七、六三七、一三四	五八、三八〇、六四八	零七、九九六、六〇一	一、三五五、二一〇	四一、三五五、二一〇	一一、三五五、二一〇	一〇、二一七、七三六	一一、三五五、二一〇	一〇、二一七、七三六	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	
七、八九六、三六七	一五、七四五、一九七	六七、四五七、七三三	五九、六三一、八五五	七五、三五四、〇〇〇	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	一〇六、五〇三、三七四	七四、九四九、四〇六	一二、六三九、四五八	三二、三〇三、六五三	三一、二七〇、三六六	一五三、八九九、七三四	一五三、八九九、七三四	一五三、八九九、七三四	一五三、八九九、七三四
五、五六、八〇〇	一三、七三六、九五九	七一、二三四、九六九	七一、二三四、九六九	五一、三七六、八〇〇	四七、五四七、二八六	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	二二、三〇一、三〇〇	七三、六〇五、五四五	七三、六〇五、五四五	七三、六〇五、五四五	七三、六〇五、五四五
三、八一四、四三七	一五、一三六、〇八四	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	三一、二七〇、三六六	五八、三三一、五三四	五八、三三一、五三四	五八、三三一、五三四	五八、三三一、五三四
四、三一九、六二〇	一三、七三六、九五九	一〇六、五〇三、三七四	七四、九四九、四〇六	七四、九四九、四〇六	六〇、三四六、一七七	一二、四八五、五一	一二、四八五、五一	一二、四八五、五一	一二、四八五、五一	一二、四八五、五一	七一、七三一、六六八	七一、七三一、六六八	七一、七三一、六六八	七一、七三一、六六八	七一、七三一、六六八
五、五六、八〇〇	一三、七三六、九五九	七一、二三四、九六九	七一、二三四、九六九	五一、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	六一、三〇四、二四五	一二、三〇一、三〇〇	一二、三〇一、三〇〇	一二、三〇一、三〇〇	一二、三〇一、三〇〇
三、八一四、四三七	一五、一三六、〇八四	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	一九、五四七、六九九	三〇、一七七、六〇〇	三一、二七〇、三六六	三一、二七〇、三六六	三一、二七〇、三六六	三一、二七〇、三六六	三一、二七〇、三六六
七、八九六、三六七	一五、七四五、一九七	六七、四五七、七三三	五九、六三一、八五五	七五、三五四、〇〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇	五五、三七六、八〇〇
一〇、三五九、四六七	二、六三二、〇八八	五七、六三七、一三四	五八、三八〇、六四八	零七、九九六、六〇一	一、三五五、二一〇	四一、三五五、二一〇	一一、三五五、二一〇	一〇、二一七、七三六	一一、三五五、二一〇	一〇、二一七、七三六	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇	一、三五五、二一〇

○小麥

本邦對各國小麥輸入額（單位千圓）

出地	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年
仕太刺利	三〇、一四九	一六、四〇五	八一〇	
藻合衆國	二八、八二〇	一三、五一六	一六、七六五	
加奈陀	一四、七〇二	六、二八二	三九九	
其他諸國	一	一	一三、五七七	
計	七三、八九六	四七、四三三	五九、九〇一	三一、五五一

濠洲ヨリノ本邦小麥輸入額ハ大正二年ニ於テハ二百二十萬圓ニ過キサリシモ大正十年ニ於テハ八十一萬圓大正十二年ニハ千六百四十萬圓ニ上リ大正十三年三千十五萬圓ニ激増シ本邦小麥總輸入額七千三百八十九萬圓ノ四割七分ヲ占ムルニ至レリ

大正十三年ニ於テ斯ク小麥ノ激増的輸入ヲ見タルハ内地機械製粉業ノ發達ト共ニ内地相場ト海外相場トノ間ニ權衡ヲ失シ且ツ其需要額ノ全數量ヲ内地麥ニ依リ供給スルコト不可能ナリトシ之ヲ外國產ニヨリ辨スルノ方針ヲ採リ海外ニ向ツテ買付ケタルニ依ルヘク、且ツ震災ニヨル輸入稅免除及濠洲小麥ノ出廻期カ恰モ十一月ニシテ本邦ヨリノ買付力此時期ニ於テ多量ニ行ハレタルニ由ルヘシ

尙濠洲物ハF、A、Q品主トシテ輸人セラル

尙濠洲小麥ニ就キ大正十一、十二年中ノ最高最低相場ヲ一括シテ擧クレハ左ノ如シ（六〇ボンド建）

大正十二年 大正十一年 大正十一年

高 值	低 值
五志五	四志六
六志	四志一〇

○鉛

本邦對各國鉛輸入額 (單位千圓)

	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年
豪 工	五、〇六五	三、九二二	四、四〇二	一、三一八
英 領	三、二一七	二、二七五	二、四六五	二、六六五
加 合	三、八八九	二、一五二	一、二七四	五一五
其 他	一一七	一、三二五	一、三九五	二、〇七三
諸 國	九八七	一、六〇六	一、六〇六	
計	一四、五七六	一〇、六六一	九、五三六	八、一七七

本品ノ大正二年度ニ於ケル豪洲ヨリノ輸入額ハ二百四十二萬圓ナリシカ爾來引續キ入増ノ趨勢ヲ持続シ十二年度ニ於テハ三百九十二萬圓十三年度ニ於テハ五百七萬圓ノ輸入増進ヲ見タリ蓋シ本邦内地ニ於テ飛彈地方ニ於テ產出セラルアルモ大體產額多カラサルニ各種工業方面ニ於ケル需要増進セルニ因ルナリ

豪洲鉛ハ主トシテプロクンヒル地方ニ產出セラレ、該地ニ製鉛會社アリテ其ノ製品ハB、H、A、Sト稱セラレ品質優良殆ト純分ニ近キ爲メ他品ニ比シ常ニ百斤當リ十錢程上値ヲ以テ取引セラル

今豪洲鉛ニツキ大正十一、十二年ノ相場ヲ擧クレハ左ノ如シ (單位圓)

	大正十二年	大正十一年
一	一四・八〇	一四・五〇
二	一五・五〇	一四・一〇
三	一六・〇〇	一四・三〇
四	一六・三〇	一四・一〇
五	一五・五〇	一三・八〇
六	一四・五〇	一四・三〇
七	一五・五〇	一四・二〇
八	一四・五〇	一四・二〇
九	一五・八〇	一四・五〇
一〇	一六・三〇	一五・〇〇
一一	一七・二〇	一四・七〇

十十九八七八五六三四二一  
月月月月月月月月月月

## ○亞

鉛

二四

大正二年ニ於テハ僅ニ十三萬圓ヲ輸入スルニ過キサリシカ本邦ニ於ケル亞鉛鍍金業ノ發達ト共ニ輸入增加シ來リ大正十二年ニ於テハ五百九十一萬圓、大正十三年度ニ於テハ六百十四萬圓ニ上リ、本邦亞鉛總輸入額千四百五十七萬圓ノ四割二分ヲ占ムルニ至リタリ

輸入品中濠洲物ハA、Z印加奈陀物ハタダナツク印ヲ主トシ尙三井物産會社取扱ノ品ハM、M、C印鈴木商店取扱ノモノハS、Z、K印ノ商標ヲ付セラル

本邦對濠洲重要輸入品額並價格表

(單位 價格千圓、數量擔)

品目	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正二年
羊毛	六、一九	六〇、七七	四五、六七	三六、五六	七、九四
小麥	四三、四七	四五、六〇	四八三、五七	三四、一四	一
小麥	三、一九	一六、四〇	一	八〇	一
亞鉛	四、九〇、五七	二、五七九、六六	五、九一五	二八、三三七	一
亞鉛	六、一四〇	五、九一五	一	一	一
鉛	三九七、二三	三、九三三	四、四〇二	二、四九	一
鉛	五、〇六	二七四、八五	三三五、九八	一〇三、四五	一
粗製硫酸アムモニアウム	三、三三	三〇	一六	一元	一
品目	西、五三	三、尤一	六、七五	五、七	一
羊毛(脂毛)	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年
數量(百封度)	四〇六、七三	五三、一九六	古八、五七	三、四九八、五〇	四、七五六、〇〇六
(洗毛)麥	八九、一二五	八九、一二五	九、要二	五〇七、七六	五〇〇、四六
同(トツブ)	七、三五	七、三五	六、七四八	四八、六五	一〇〇、〇二
同(トツブ)	九〇四、三五四	一、二八、〇七五	六、七三	六、三四九	一〇、八七四
脂	二七、三八	三〇、四〇三	三、尤六	八九一、四九二	一、三三九、五九九
脂	八四、六五	一、九四、七三	三、尤六	四四、一六六	五三、四七九
脂	四三、〇八	三、八五、〇四	四、三九九	一、九一、〇六三	九六、二七一
脂	三〇〇、九三	六三三、一〇六	四四七、四五三	四、四九六、七六六	二、三六、七三三
脂	六、六七〇	七、五一	六、五二	三、〇九〇	三六、五九五
脂	一七七、三五	三、三〇	四、五五四	二、四七七	二、四七七
脂	西、六四九	七、八八〇	六、六九八	一九八、八九五	一九八、八九五
亞鉛	一八	一八	一四、五三三	一八六、三三三	一八六、三三三

對日濠洲重要品輸出額 (濠洲貿易年表ニ據ル)

品目	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
羊毛(脂毛)	四〇六、七三	五三、一九六	古八、五七	三、四九八、五〇	四、七五六、〇〇六	四、七五六、〇〇六
數量(百封度)	八九、一二五	八九、一二五	九、要二	五〇七、七六	五〇〇、四六	一
(洗毛)麥	七、三五	七、三五	六、七四八	四八、六五	一〇〇、〇二	一
同(トツブ)	九〇四、三五四	一、二八、〇七五	六、七三	六、三四九	一〇、八七四	一
同(トツブ)	二七、三八	三〇、四〇三	三、尤六	八九一、四九二	一、三三九、五九九	一
脂	八四、六五	一、九四、七三	三、尤六	四四、一六六	二、三六、七三三	一
脂	四三、〇八	三、八五、〇四	四、三九九	一、九一、〇六三	九六、二七一	一
脂	三〇〇、九三	六三三、一〇六	四四七、四五三	四、四九六、七六六	二、三六、七三三	一
脂	六、六七〇	七、五一	六、五二	三、〇九〇	三六、五九五	一
脂	一七七、三五	三、三〇	四、五五四	二、四七七	二、四七七	一
脂	西、六四九	七、八八〇	六、六九八	一九八、八九五	一九八、八九五	一
亞鉛	一八	一八	一四、五三三	一八六、三三三	一八六、三三三	一

鉛	（價格（磅））	五三、〇五	四八、七九六	三三、二〇〇	三〇七、七三三	五三、一四〇
	（數量（噸））	九、八六六	三、四六八	一、〇七八	一三、〇九一	二一、七三二
粗製硫酸	（價格（磅））	吾、夷八	四、六〇九	二〇、三七二	四〇、八四二	四一、〇〇一
アンモニウム	（數量（噸））	一、七〇三	一、七〇六	一、一八	三、一五三	三、四四四
動物	（價格（磅））	八、六〇七	六、六一五	六、二三三	九、三三三	四、三九九
	（數量（噸））	一	一	一	一	一

## 第二、濠洲一般貿易並國別貿易

### (一) 一般貿易

一九二二年七月ヨリ一九二三年六月ニ至ル一箇年間ノ濠洲ノ對外貿易ハ輸入一億三千百七十五萬七千八百三十五磅、輸出一億一千七百八十七萬百四十七磅ニシテ總貿易額二億四千九百六十二萬七千九百八十二磅ニ達セリ之ヲ前年ノ二億三千九十一萬二千九百七十一磅ニ比スレハ約千九百萬磅ノ增加ニシテ戰後濠洲貿易ノ最好況時代タル一九二〇年ノ二億九千七百九十六萬九百七十一磅ニ比スレハ尙及ハサルコト四千五百萬磅ナルモ大戰ノ影響今ヤ全ク去リ平常ニ回復シタルノミナラス多少ノ進歩ヲ示シ來レリ而テ一九二二一二三年度ニ於ケル濠洲全貿易額ハ一人當リ四十四磅四志輸入一人當リ二十三磅七志、輸出二十磅十八志ニ達シ之ヲ各國ニ比スル時ハ新西蘭、白耳義ニ及ハサルノミ、本邦一九二一年度ノ一人當リ貿易額六磅五志、輸入三磅十一志、輸出二磅十五志ニ比シ如何ニ消費力ト生産力アルカヲ知ルニ足ルナリ、濠洲ノ貿易ニ關シ其ノ輸出入關係ノ趨勢ヲ尋ヌルニ一八二六年ヨリ一八九五年ニ至ル間ニ於テハ毎期輸

入超過ノ狀態ニアリタリ是レ當時濠洲ノ資源未タ開發セラレス政府公債並ニ私企業投資ノ形式ヲ以テ新資本ノ流入多大ナリシニ依ルモノトス、而シテ一八九五年ヨリ一九二〇年ニ至ル間ハ之ニ反シテ毎期輸出超過ヲ示セルニテ、殊ニ一九一九一二〇年ニ於テハ濠洲ノ輸出貿易額ハ一億四千九百萬磅ニ達シ新記錄ヲ創スルニ至リシカ一九二〇一二一年ニ於テ輸入額ハ著シク増大セリ、是レ前年度ニ於ケル海外ヘノ注文カ該年度ニ於テ實際取引行ハレタルニ因ルモノニシテ一九二〇一二一年度ノ輸出額カ一九一九一二〇年ニ比シ減少セルハ羊毛價格ノ下落、羊毛輸出額ノ減少、肉類、粉類、皮革、牛脂、鉛、銅ノ輸出減少セルニ因ル、一九二一一二二年ニ於テハ總貿易額二億三千磅、輸出一億一千七百磅、輸入一億三十磅ニシテ前年度ニ比シ頗ル好況ヲ呈シタルナリ、一九二二一二三年度ニ於テ貿易カ逆調ニ轉シタルハ小麦ノ輸出減少ヲ主因トナスヘク尙牛脂、粉類モ減少セルヲ見ルナリ、一九二二一二三年度ニ於ケル羊毛輸出額ハ五千七百磅ニシテ全輸出額ノ四割八分ヲ占ム、最近ニ於テ濠洲金融界ハ倫敦ニ多クノ受取勘定ヲ有シナカラ送金困難ナリシ爲羊毛小麥ノ輸出ニ多大ノ逼迫ヲ感シ居リ

濠洲ノ重要輸出品ニ付キ觀察スルニ一九二二一二三年ニ於テハ羊毛ノ五千七百萬磅ヲ主トシ小麦ノ八百四十六萬磅、肉類ノ七百六十七萬磅、牛脂六百十三萬磅、小麥粉四百五十二萬磅、鉛二百五十六萬磅、金二百二十一萬磅ヲ重要ナルモノトシ其他牛脂、亞鉛、牛乳及クリーム、石炭、銀、皮革等ヲ算ス、而シテ羊毛輸出額ノ四割ハ英國之ヲ占メ佛、日、米、獨、伊、白ヲ重要仕向地トナス、小麥ハ一九二二一二三年度ニ於テ非常ナル減收ヲ來シ前年ノ二千八百萬磅ニ比シ僅ニ八百萬磅ニシテ英、伊、日、南阿ヲ其ノ重要市場トス、肉類ハ殆ト其ノ全部カ英ニ輸出セラル、牛脂ハ英ヲ主トシ蘭領東印度ニ輸出セラル、小麥粉ハ埃及、蘭領東印度、英國ニ、鉛ハ日、英ニ、金銀ハ印度ニ、石炭ハ新西蘭、比律賓、果物ハ英國、新西蘭等ニ輸出セラル、各種皮類中牛皮ハ英ニ、兔皮ハ米ニ、羊皮ハ佛ニ輸出セラレ

一九二二二三年度ノ重要輸入品ニ付考察スルニ綿織物ハ千二百萬磅ニ達シ主トシテ英、日、米ヨリ供給セラル處ナルカ英ヨリ千萬磅以上ノ輸入アリ、鐵、鋼鐵ハ鐵棒塊、葉鐵、パイプ等六百萬磅ニ達スルモ英ノ獨占スル處ニシテ米國之ニ次ケリ、毛織物ハ五百萬磅殆ト英ヨリ供給シ、絹織物ハ四百萬磅其ノ五割ハ本邦ノ供給スル處ナリ、木材ハ四百萬磅加工セルモノハ諾威、瑞典ヨリ、丸太類ハ米、日、新西蘭ヨリ輸入セラル、袋物類ハ二百六十萬磅印度ヨリ輸入ス、茶ハ二百六十萬磅、蘭領東印度品最モ多ク錫蘭島之ニ亞ク、煙草ハ二百萬磅未加工ノママ輸入セラレ米國ヲ主トス、紙ハ二百三十萬磅英、諾ノ供給ニ係リ護謨製品ハ二百萬磅英、米、加ヨリ來ル、書籍類百萬磅、陶磁器八十萬磅ハ主トシテ英國ノ供給ニ係ル、肥料ハ八十萬磅ニシテ過半ハキルバート及エリザベス諸島ヨリ供給セラル、科學用機械類ハ百萬磅英、米ヨリ來ル、石油ハ八〇萬磅米ヲ主トシ蘭領東印度之ニ次ク、我國ノ對滙貿易品中世界各國ニ伍スルハ絹織物ノ外木材アルノミ

濱洲輸出入貿易額表

一八五—十五五年	一一、九三一	一一、四一四	二二三、三四五	三八	九五·七
一八五六十六〇年	一八、八一六	一六、〇一九	三四、八三五	三〇	八五·一
一八六一十六五年	二〇、一三二	一八、六九九	三八、八三一	二五	九三·〇
一八六六十七〇年	一八、六九一	一九、四一七	三八、一〇八	二六	一一〇·三
一八七一十七五年	二一、九八二	二四、二四七	四六、二二九	二三	九六·六
一八七六十八〇年	二四、六二三	二三、七七二	四八、三九四	二五	八〇·四
一八八一十八五年	三四、八九五	二八、〇五五	六二、九五〇	二〇	七六·六
一八八六十九〇年	三四、六七五	二六、五七九	六一、二五四	一八	一二三·二
一八九一十九五年	二七、三三五	三三、六八三	六一、〇一八	二〇	一二一·七
一八九六十一九〇〇年	三三、七六三	四一、〇九四	七四、八五七	一八	一三〇·五
一九〇一—五年	三九、二五八	五一、二三七	九〇、四九五	二三	一〇一·五
一九〇六十一〇年	五一、五〇八	六九、三三六	一二〇、八四四	二八	一〇一·五
一九一一—五年	七三、四一一	七四、五〇四	一四七、九一五	三一	一二八·五
一九一六十一七年	七六、二二九	一七四、一八四	一四三、七六四	三五	一二八·六
一九一七—八年	六二、三三五	九七、九五五	二二〇、八四四	二八	一二一·四
一九一九—二〇年	一〇二、三三五	八一、四二九	一一三、九六四	四二	一五一·四
一九一九—二〇年	九八、九七四	一二六、二九九	二四八、七九八	四六	一四五·八二四

木 材 及 製 品	一、六四四、五〇九	八九一、〇三九	九二一、六五三	一、二一六、〇三五	七九、四一七
陶 磁 器 及 硝 子 類	一、四七一、五五〇	一、二四三、五六二	一、二一六、〇三五	八一、三七五	一、三三四、六六六
寶 石 及 小 間 物 類	一二三、三二五	二一九、九五二	二一九、九五二	一六六、三九九	一六六、三九九
科 學 器 械	一四七、一六六	一九四、七三二	一四八、六〇四	一四一、三〇九	一五一、一三〇
藥 品 及 肥 料 品	三五〇、六九四	二五九、三九五	八四、三三一	九一、一三三	七三、九七〇
雜 金 及	六三、六九六	六七、五五四	六一、〇七六	五六、三三六	七三、九七〇
銀 計	九六六、二六三	九一四、九五〇	五六、三三六	五八、三三六	七三、九七〇
六九三、七五三	七六〇、〇三五	七六〇、〇三五	五〇一、三三六	五〇一、五九六	七三、九七〇
六、五七三、三九〇	五、四六四、九三八	五、四六四、九三八	五〇五、三八八	五〇五、三八八	七三、九七〇
計	一四、五六九、三三四	一三六、四三〇、六八一	五一四、八三三	五三六、二七三	七三、九七〇
濠 洲 品 別 輸 入 額	(單位磅)	四、三三六、五六九	五三六、五七六	五三六、五七六	七三、九七〇
品 目	一九一、九一	三、三四、〇九九	三、三四、五七六	三、八九三、八六五	七三、九七〇
動 物 性 食 料 品	一九二、〇年	一、三三四、〇九九	一、五三五、三〇八	一、五三五、三〇八	七三、九七〇
植 物 性 食 料 品	一、四五九、二二三	一〇、七二八、五五一	一、七七〇、三四一	一、七七〇、三四一	七三、九七〇
酒 精 飲 料 品	二、八〇〇、八七七	四、四五〇、〇六八	二、二〇四、八八一	二、二〇四、八八一	七三、九七〇
煙 草 及 製 品	一、三〇八、六六六	三、八一四、五四八	一、五八三、三八二	一、五八三、三八二	七三、九七〇
生 動 物	二、七四三、五三五	三、八一四、五四八	一、六六七、〇三三	一、六六七、〇三三	七三、九七〇
	二一七、五二九	七六、三八二	一、二三、八〇八	一、二三、八〇八	七三、九七〇

動物性物品(食料品ヲ)

一、〇五三、一六三

七一六、五三三

七〇三、一九六

六九〇、七八四

一、九八、六六六

植物性物品並纖維

三、四九三、三九六

三、八三九、〇三一

二、八九一、〇四〇

二、八四、九〇五

二、八四、九〇五

衣服並纖維工業品

三、七、六三〇、六三

三、三三三、七〇七

三、三五、六四三

三、四八三、四四六

三、四八三、四四六

油 脂

四、七一、六六六

八、四三八、七五〇

五、一三〇、二八六

五、九八七、三三一

七、三八三、八七九

礦 石

四四五、一三六

六三七、三三三

四六六、〇三九

六三五、八四四

六三五、八四四

塗 料

四四五、八四四

六六八、九五七

三三九、三三三

六九八、三四八

六九八、三四八

金屬製品及機械類

三、三五三、四四四

三、〇九三、六一

三、〇三、二八四

三、四九七、三六一

三、七五三、八金〇

ゴム及皮革製品

一、三七、五五八

一、五八三、六一

二、六四三、四九八

三、四九七、三六一

三、四九七、三六一

木 紙

一、二五、六六六

一、二五、七五〇

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

陶磁器、硝子、セメン

一、二五、六七一

一、二五、七九九

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

ト製品

一、二五、六七一

一、二五、七九九

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

二、二〇五、七九九

寶石、時計及小間物類

二、〇六五、三一八

二、〇九、四四六

二、〇九、七四六

二、〇九、七四六

二、〇九、七四六

科學器 械

九一、〇四一

一、一三五、一五八

一、一八九、三五五

一、一八九、三五五

一、一八九、三五五

藥 品

三、六三、六七一

三、五九一、三五五

三、五九一、三五五

三、五九一、三五五

三、五九一、三五五

雜 品

六〇、一四九

七一、八金、七三一

六、七〇三、三〇六

六、七〇三、三〇六

六、七〇三、三〇六

金 品

六、九七四、二九三

一六三、八〇一、八三六

一〇三、〇六六、四三六

一三一、七五七、八三五

一四〇、六一八、二九三

總 計

九一、九七四、二九三

一六三、八〇一、八三六

一〇三、〇六六、四三六

一三一、七五七、八三五

一四〇、六一八、二九三

藻洲輸出重要品(一九二二一一一三年)

羊毛(脂毛、洗毛、トツフ)

五七、一四四、四九三磅

小 肉

八、四六九、五七四

類(凡テノ種類)

七、六七九、九二四

巴 肉

六、一三三、八六四

牛 肉

四、五二一、九七六

小 肉

二、五六一、六一六

鉛

二、二一九、三三一

脂

一、六三五、六八一

亞 鉛

一、四六三、〇九七

牛 乳

一、三二八、七六二

炭

一、一二七、一四五

革(凡テノ種類)

六、六七三、八四六

皮 其他(再輸出ヲ包含)

一、一七、九一三、〇八三

計

(二) 國別貿易

濠洲貿易ニ於ケル各國別貿易ニ關シテ概述センニ各國貿易總額ノ順位ハ英國、米國、佛國、日本、印度、伊國、新西蘭、蘭領印度、加奈陀、白耳義、南阿、瑞西、錫蘭、海峽殖民地、瑞典、埃及、支那等ニシテ本邦ハ第四位ニアリ然シテ是等諸國ト濠洲トノ貿易關係ニ於テ濠洲ヨリ輸出スルモノハ羊毛、小麥、小麥粉、ミルク、クリーム、バター、羊皮、石炭、果實、亞鉛、家畜、コブラ、鉛、タロー、トツブ等ノ濠洲主要物產ニシテ濠洲カ各國ヨリ輸入スルモノハ酒類、靴下、カーベット、リノリュウム、カンバス、毛織物、毛絲、電線、金屬製品、鋼鐵類、船舶、農具類、自動車、護謨製品、木材、絹織物、手袋、瓶具、茶、ベンジン、魚類、トリミング、ソーセージ、煙草、ボタン、帽子、綿織物、ファイルム、藥品等ニシテ前掲各國ノ特長品ナリ

尙以下一九二二—二三年度ニ於ケル濠洲ノ國別貿易ニ關シ概述スヘシ

英國、英國ヨリ輸入ハ六千八百三十九萬四千四百二十二磅、英國ヘノ輸出ハ五千百九十七萬五千三百八十一磅、計一千二百三十六萬九千八百四磅ニシテ輸出入貿易額ニ於テハ濠洲總貿易ノ四割八分ニ當リ輸入ハ五割一分五厘、輸出ハ四割五分ヲ占ム、對英貿易輸入ハ特惠關稅制度ノ存在ニヨリ逐年增加シ英國ヨリノ輸入品ウイスキー、靴下類、カーベツト、リノリュウム、綿織物、電線、金屬類、紙類等總テ特惠關稅ノ利益ヲ受クルモノハ輸入割合ニ於テ增加シタリ

英國ヨリノ輸入品中ノ重ナルモノハ衣類織物類(三千百一萬五千四百七十二磅)、金屬類及機械類(二千十五萬九千二百六十九磅)、紙類及文房具(三百五十七萬七千五百五十七磅)、藥品及肥料(百九十八萬二千百四磅)、酒精類(百五十八萬五千二百四十四磅)、硝子及陶磁器(百三十一萬一千八百十七磅)等ニシテ前年度ニ比シ著キ增加ナリ右ノ内英國ノ特長アル商品ト見ラルヘキハウイスキー、綿製靴下、毛織靴下、リノリュウム、カーベツト、漂白木棉、毛織物、刺繡絹、

電線、亞鉛、鐵銅、鐵板、磁器、新聞用紙、船舶等ナルモ是等品目ノ多クハ同時ニ歐米先進國トノ競争品ナリトス、英國產商品ニシテ特惠關稅ノ均霑ナクモ輸入セラルヘシト認メラル商品ハ亞鉛、鐵板、綿布類、毛織物、ウイスキ

—ニ過キサルカ如シ、濠洲市場ニ於ケル各國商品ハ特惠關稅制度ノ爲殆ト英國商品ノ勢力下ニアル狀態ナリ濠洲ヨリ英國ニ對スル重要輸出品ハ羊毛(二千八百萬磅)、肉類(一千百萬磅)、バター(五百萬磅)、乾果實及小麥(三百萬磅)ナリ、羊毛輸出額ハ一九二二—二年ニ比シ增加シタルモ肉類及食料品ハ減少セリ、後者ノ輸出額ノ減少ハ市價ノ下落ニ因ルモノナリトハ謂ヘ、戰後世界各地ヨリ食料品ノ輸入競爭著シキカ爲ナリ、即チ濠洲ノ輸出スル肉類及小麥粉ハ兩三年來大ニ減少シテ食料品輸出ハ悲觀スヘキ地位ニアリ、羊毛ニ關シテハ濠洲カ世界市場ニ冠タルノ地位ヨリシテ保護ナクモ輸出ハ增加ノ傾向ヲ有ス

米國、米國ヨリ輸入二千四百八十五萬一千三百三磅、米國ヘノ輸出九百六十三萬七百七十磅ニシテ合計三千四百四十八萬二千七十三磅ナリ、輸出入トモニ數量、價格ニ於テ增加ノ傾向ニアリ、濠洲輸出入總額ニ對スル比率ハ輸入一割九分弱(前年一割八分)、輸出八分強(前年六分五厘)ナリ、米國ヨリノ主要輸入品ハ自動車體(二百七十八萬磅)、煙草、木材、ガソリン等ヲ最重要ナルモノトス殊ニ自動車ニ使用スルガソリン、ベンジンノ增加ハ著シキモノアリ、是等ハ米國ヨリ輸入セル百萬磅以上ノモノナルモ右ノ外衣類、靴下類、油類、電氣用具、機械、金屬類、護謨製品、文房具、ファイルム、化粧品ノ輸入アリ

米國ヘノ重要輸出品ハ羊皮、羊毛(五百萬磅)、ソーセージ及兔皮(百五十萬磅)等ナリ、要スルニ米國ニ對シテハ當地ヨリ輸出スルモノ少ク原料品ニ限定セラル

佛國、佛國ヨリノ輸入八千三百二十三萬一千百九十七磅、佛國ヘノ輸出ハ一千二百二十九萬六千六百六十五磅ニシテ

輸出超過九百六萬五千四百六十八磅ナリ、對佛貿易モ輸出入共ニ増加シ戰後ノ不況ヲ回復シ來レリ、主要輸入品ハ絹織物(六十七萬磅)、刺繡(三十九萬磅)、レース、自動車、護謨製品、文房具等ナルモ要スルニ佛國製品ハ優美ナルモノニ止リ輸入額餘リ大ナラス、主要輸出品ハ脂付羊毛(八百九十八萬磅)、洗毛(百四十二萬磅)、羊皮(百十三萬磅)ナリ何レモ著シキ增加ヲ示セリ

印度、印度ニ對スル貿易ハ主トシテ金塊(五十九萬磅)、銀塊(百萬磅)、石炭等ノ輸出ト穀類袋等ノ織維製品(三百二十七萬磅)、米、茶等ノ輸入ナルモ、前年迄數百萬磅ニ上ル小麦カ皆無ナリシニヨリ濠洲ノ對外貿易ハ逆調ヲ來セリ伊國、伊國ヨリノ輸入ハ前年度ヨリ二十萬磅ヲ増加シテ百二十萬磅ニ達セリ元來對伊貿易ハ濠洲ニトリ常ニ順調ニシテ本年モ輸出ハ六百萬磅ニ達セリ重要輸入品ハ車輛類(三十八萬磅)帽子類、絹織物、種實(アルモンド)等ニシテ輸出品ハ小麦(三百萬磅)、脂付羊毛(二百三十五萬磅)、タロー等ニシテ小麦ノ輸出ハ列國中第一位ニアリ本年小麦總輸出額ノ約三割五分強ニ當レリ

新西蘭、新西蘭ヨリノ輸入品ハバター、皮革、ヘンブ、木材等ニシテ合計二百萬磅、輸出品ハ果物、砂糖、煙草、衣類、石炭、木材等合計四百三十萬磅ニ達スルモ其ノ内百十萬磅ハ濠洲ノ產物ニ非スシテ中繼品ニ過キス、一九二三年兩國間關稅率ノ協定ハ現實ニ差シタル効果ヲ與ヘサルカ如シ

蘭領東印度、茶(百萬磅)、カボツク、ガソリン、ベンジン(百八十萬磅)等ヲ輸入シバター、ミルク、小麥、石炭、皮革等ヲ輸出ス、石油ハ自動車用トシテ將來米國ト其ノ輸入額ヲ爭フニ至ルヘシ輸出ニ於テモ小麥、バター、果物等ハ蘭印地方ニ重要市場ヲ見出スニ至ルヘシ

加奈陀、輸入ノ重ナルモノハ魚類、靴類、機械、自動車、護謨製品、木材、紙類等ニシテ本年ハ五百萬磅ノ多キニ達

セリ、然モ輸出額ハ僅ニ三十六萬磅ニ過キス、皮革、羊毛、肉類ノ輸出モ算スルニ足ラス、加、濠關稅協定ハ濠洲ニ取りテ重要視セラルヘキモ實際上ノ協定項目ニ重大ナル困難アルヲ見ル、殊ニ加奈陀ヨリノ輸入品ノ多クハ米國品ト同様ニシテ對米貿易カ常ニ逆ナル如ク到底加奈陀トノ貿易關係ヲ緊切ナラシムルコト困難ナル事情ニアリ所謂 Empire Trade ノ問題トシテ關稅協定ノ結果ハ英、米兩國ニ影響ヲ及スヘキモ濠洲自身ノ輸出增加ノ望ミ殆ト無キカ如シ白耳義、輸出入前年ト大差ナキモ輸出ニ於テ約百萬磅ノ減少ヲ見タルハ羊毛ノ減少ニヨル近時白國ノ羊毛工業カ主トシテ下等安價ナル羊毛ヲ原料トスルコトニ集中シ來レルカ故ナリ輸入中多キハ硝子器類ナルモ三十萬磅ニ過キス獨逸、獨逸ハ一九二二年八月迄輸入ヲ禁止セラルレタル故、客年迄ハ十萬磅足ラスナリシカ今年ニ至リテ六十萬磅ノ輸入ヲ見タリ、主ナル輸入品ハ衣類、絹織物、電氣器具、車輛、革製品、磁器、紙類、瓶具、科學用品、肥料及藥品、藥品等總テ今年ニ於テ一萬磅以上ニ達シ又其品目多様ニシテ增加ノ傾向ヲ示セリ獨逸品ノ輸入ニ關シテハ濠洲政府ハ多大ノ注意ヲ拂ヒ輸入許可後モ所謂ダンビング防止法ニ基キ獨逸品ニ對シテハダンビング關稅率ヲ課シ來リ、現在(一九二四年五月末日)ダンビング課稅品目ハ約二百ニ達スル所、內獨逸品ハ百三十品目ヲ算ス、從ツテ目下他國貿易ニ影響スル處著シカラサルモ輸入能力ハ獨逸政局ノ安定ヲ俟ツテ增加スヘキ傾向ト察セラル、輸出ハ前年ノ四百萬磅ニ比シ僅少ナル增加ヲナシタルニ過キスシテ四百十八萬磅ナリ主タル輸出品ハ脂付羊毛二百六十一萬磅、洗上羊毛八十二萬磅、牛肉、コブラ、タロー等ニシテコブラ及小麦ノ輸出ハ今年大ニ減セリ

### 濠洲國別輸出額 (單位磅)





支佛獨伊和蘭太諾瑞比北其合米他諸衆計國國西典島威度蘭本利逸西那

○、七七	一、六一	二、四五	二、二一	○、六二	二、六五	二、九二	四二
○、五七	○、〇一	○、〇一	○、〇一	○、〇四	○、〇八	○、〇八	三、四八
○、五九	○、二五	○、二〇	○、二〇	○、三七	○、一九	○、一九	二、九九
○、五九	○、二五	○、二八	○、二八	○、一七	○、一七	○、一七	二、四五
○、五九	○、二五	○、二八	○、二八	○、一三	○、一三	○、一三	二、四五
○、五九	○、二五	○、二六	○、二六	○、一九	○、一九	○、一九	○、八九
○、五九	○、二五	○、二一	○、二一	○、一九	○、一九	○、一九	○、四五
○、五九	○、二五	○、二一	○、二一	○、一九	○、一九	○、一九	○、六七

(折込表第二入ル)

## 濠洲對重要國別輸入額 (單位磅)

(單位磅)

品

目 年 度

英 國

佛蘭西

獨 邑

日 本

北米合衆國

其他

動物性食料品

一九一九年—二〇年

三〇一、〇五

三、〇五三

一、二、〇五

六、九八八

二八九、三九

九四七

酒精飲料品

一九一九年—二〇年

三〇五、九三

二、五八

一、六八

三、五五四

四二九、三七

一、四九

織維工業品

一九一九年—二〇年

三〇五、〇三

二、五七

一、五八

五、六九五

三〇一、〇三

一、三四

金屬並機械類

一九一九年—二〇年

三〇五、九六

一、五七

一、六八九

九〇五三

三九〇、五四

一、五五

紙及文房具

一九一九年—二〇年

三〇五、九七

一、五八

一、七二、三五

四九〇

一、七〇

一、三〇八

小 間 物 類

一九一九年—二〇年

三〇五、九八

一、五八

一、七二、三五

一六〇

六、九八八

一、五九

寶 石

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八九

一、五九

陶磁器、セメ

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八八

一、五九

藥品、化學品

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八七

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八六

一、五九

小 間 物 類

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八五

一、五九

寶 石

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八四

一、五九

硝子類

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八三

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八二

一、五九

藥品、化學品

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八一

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九八〇

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七九

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七八

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七七

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七六

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七五

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七四

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七三

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七二

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七一

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三

六、九七〇

一、五九

肥 料

一九一九年—二〇年

三〇五、九九

一、五八

一、七二、三五

一、七三



(折込表第一入ル)

濠洲對重要國別輸入額

(單立旁)



### 第三 濠洲ニ於ケル製造工業

從來殊ニ大戰前ニ於テハ濠洲ハ主トシテ原料品ノ生産ニヨリテ滿足シ製造業ハ全ク從タル地位ニ在リタリ、然ルニ大戰當時海上輸送ノ障礙起リ從來輸入ニ俟チタル各種物品ヲ國內ニ於テ製造スルノ已ム無キニ至レリ、然シテ宰相ダブリュー、エム、ヒューズ氏モ最近稅率問題ニ關聯シテ語リテ曰ク、「濠洲ハ諸外國ノ要求セル原料ヲ有スルト同時ニ又當國政府ノ政策ハ進シテ此等物品ヲ加工シ優良既製品トシテ之カ輸出ヲ益々増進セシメントスルニアリ」ト、約言セハ濠洲ハ原料產出國タルト共ニ又加工國タラン覺悟アリト云フヘク、一九一九年ニハ千七百萬磅以上ノ資本金ニテ國內製造業起リ一九一六年以來工業ニ放資セル總額ハ一億一千四百萬磅ニ及ヘリ

然シテ濠洲政府カ濃厚ナル產業保護政策ノ下ニ關稅ノ障壁ヲ鞏固ニシ殊ニ停止關稅制度ヲ採リテ各種製造工業ヲ保護シツツアルハ既知ノ事實ニシテ聯邦政府カ如何ニ各種工業ノ發展助長ヲ講シツツアルヤヲ知ルニ足ル

濠洲ニ於ケル工業ノ發達ハ各種工業品ノ貿易狀況ニ影響スル處甚大ナルニヨリ以下其ノ概狀ヲ敍述セントス

概況  
濠洲ノ工業ハ歐洲大戰後大ニ發達シ一九二四年六月現在ニ於テハ工場數一萬九千七十三ニシテビクトリア州最モ多クニユウ、サウスウエルズ州之ニ亞ク衣服機織工場ヲ最多數トシ各種工場存スルモ未タ世界商品市場ヲ對照トスル大工場ナリト云フヲ得ス

戰後工場數ノ增加ハ年々千ヲ以テ算セラレ上記工場中、蒸汽、瓦斯、電氣、水力ノ動力ヲ用フルモノ約一萬五千中、蒸氣力ヲ動力トスルモノ最多ク電力、瓦斯力之ニ次キ動力總數ハ約八十六萬馬力ナリ馬力量ヨリ論スル時ハ工業ノ盛ナルハニユウ、サウスウエルズ州ニシテ約三十五萬馬力ヲ使用シ各州中第一位ニアリ、即チ工業中心地ハビクトリア

州ニアリト云フヘクビクトリア州ハ機織衣服製造ノ如キ動力ヲ要セサル工場多數存スルナリ  
近時電氣動力ノ增加著シク一九一三年ニハ僅ニ七萬馬力ニ過キサリシニ現今ニ於テハ二十八萬馬力ニ増大シ未タ蒸氣  
力ノ使用量ニ及ハサルコト遠シテ雖モ濠洲ニテハ一工場平均約五十八馬力ヲ使用スルニ對シ本邦ハ三十一馬力平均ニ過  
馬力ニ比シ及ハサルコト遠シテ雖モ濠洲ニテハ一工場平均約五十八馬力ヲ使用スルニ對シ本邦ハ三十一馬力平均ニ過  
キサルヲ看レハ濠洲ハ機械的工業組織ニ於テ本邦ニ優レリト云ヒ得ヘキカ

工業關係ノ固定資本即チ土地建物工場及機械ハ近年增加率著ク一九一八—一九年ニ約一億二百萬磅ナリシモノ一九二  
二—二三年ニ一億六千萬磅ニ増加シ年平均千四百五十萬磅ノ增加率ニアリ、内工場及機械ハ一九二二—二三年ニテ八  
千六百萬ニ達シ年平均八百萬磅ノ增加ナルカ其ノ二割三分ハ衣服機織工業ニテ之ヲ占ム

前年ノ製造工業生產高ハ三億二千六百萬磅ニシテ製造加工價格一億四千萬磅ナリ以下濠洲ニ於ケル有力ナル工業ヲ箇  
別的ニ説明スヘシ  
織維製造業、濠洲ハ全世界中最多額ノ羊毛ヲ產出シ其所產ハ世界總額ノ二〇%ニ當ルモ濠洲聯邦ノ羊毛製造工場ハ自  
國產羊毛ノ四%ヲ消費スルニ止リ、世界產出高ノ一%ヲ生產スルニ過キサルヲ以テ政府ハ毛織物製造ヲ企圖スル私企  
業ニ對シ積極方針ノ下ニ保護獎勵策ヲ講シ國產羊毛ノ三分ノ一ヲ國內ニ於テ製織セント企畫シツツアリ  
濠洲織物ノ原料ハ目下羊毛及綿絲ニシテスコツチ及毛織物一般ニ最著名ナリ本業ハ一八〇一年政府管理ノ下ニ二十三  
工場設立セラレタルモ進歩著シカラス最近ノ工場數四十、生產高五百萬磅ニ上リ生產品ハツイード、フランネル、毛  
布等ヲ主トシ何レモ純良ニシテ耐久力アリ本年ノ生產高ハツイード及綿布五百萬碼(百七十二萬磅)、フランネル七百  
八十萬碼(六十二萬磅)、毛布ラツグ、シヨール等ハ百萬碼(七十一萬磅)ニ及フ

尙近時濠洲ニハ莫大小及編物工場盛ニ設立セラレ其數二百四十二達ス使用勞働者七千五百人ナリ仕立業ノ工場數千五  
百、勞働者三萬人、婦人服製造工場モ九百、一萬五千人ノ勞働者ヲ使用ス本業ハ濠洲工業中最モ勞働關係ノ深キ  
モノニシテ政府ニテモ各州ニ工場及商店法ヲ發布シ勞働者ヲ保護セリ、是等ハ技術未タ至ラス外國輸出ハ僅少ナリト  
ス

#### 濠洲ニ於ケルメリヤス工業。

ピクトリア州ニハ約八十有餘ノ工場トニユウ、サウスウェ尔斯州ニハ四十有餘ノ工場トアリ其他ノ諸州ニハ數ヶ所宛  
ノ工場アルニ過キス、是等メリヤス工場ノ大部分ハ毛製ノ運動シャツ、スエーター、ゴルフ用靴下、スカーフ等ヲ  
製造ス、其他ウール、ヴエスト、ゴム織ヴエストヲ製造シツツアリ、然シテ工場ノ九割九分迄ハ毛物ヲ製シ小數ノ工  
場ハ英國ヨリ綿絲ヲ輸入シテコットンヴエストヲ製造ス、是等ノ狀態ハ濠洲ニ於ケル勞働賃銀高價ナルヨリシテ當分  
繼續スヘシト考ヘラル

#### 製 鐵 業

濠洲ニ於ケル鐵鑛埋藏量ハ巨額ニ上ルモ其ノ開發及製鐵業ハ未タ充分ナラス、最良質ノ鐵鑛アリト云ハルルハニユウ  
サウスウェ尔斯州ニシテ Cadia, Carcoar ヲ主要ナル鐵鑛地トシ、ニユウ、サウスウェ尔斯州全體ニテ千五百萬噸  
ヲ利用シ得ヘシト稱セラル、ニユウサウス、ウエルズ州ニ於ケル Hoskins Iron and Steel Co., Ltd. The  
Broken Hill Proprietary Co., Ltd. ヲ經營スル製鐵工場ハ最モ有力ナルモノニシテブローケンヒル會社ノ製鐵工場  
ハ一九一五年大戰當時鐵材ノ輸入意ノ如クナラサリシ時代ノ創立ニ係リ其後著シキ發達ヲ遂ケ一九二一年ニハ二六  
二、三一一頓ノ洗鐵ヲ產出セリ、又同會社ハ自ラ使用ノ爲ノ Cokes ヲ製造シ一九二一年ニ於テ二五六、八九九噸ヲ生產

前掲二會社ノ外 New Castle ハ於テハ棒鐵、鐵線、黑鋼鐵板、亞鉛引鐵板、銅鐵製造ノ各工場存スルモノ何レモ規模小ナル爲政府ニ對シ保護ヲ求ムルコト多キナリ是等製鐵關係事業所謂 Engineering Works, Iron Works, and Foundries ニ對スル全臺ヲ通シタル工場數雇傭人數、使用原料價格、產出總額ハ左ノ如シ

	一九一八年	一九一九年	一九一〇年	一九一一一年	一九一二一年	一九二二一年	一九三一年
工 場 數	一〇五個	一一〇個	一〇四	一〇八	一〇六	一〇八	一〇六
雇 傭 人 數	五、八四人	五、八四人	三、〇九	三、九四	三、〇六	三、〇三	三、〇三
使 用 原 料 價 額	九、四三、三六磅	一一、九三、六〇	一四、三四、一九	一一、七三、四〇	一四、三四、一九	八、七四、〇三	八、七四、〇三
產 出 總 額	六、九一、一七五磅	一〇、三〇九、三九	二四、三一、〇八〇	二一、五〇六、五五	一八、三〇〇、九五	一八、三〇〇、九五	一八、三〇〇、九五

## 食糧品製造業

濠洲ノベーコン製造工場ハ七十一ニシテ前年ノ屠殺頭數ハ六十四萬頭、ベーコン、ハム、ラード等ノ製產高三百七十餘萬磅ニ達シタリ、バター、チーズ、コンデンスミルク等ノ製造工場ハ非常ナル多數ニ上リ五百七十三ニシテビクトリア州最モ多シ全生產高ハ二千萬磅其ノ内バター製造工業最モ盛ニ原料牛乳ノ使用量四億七千五百萬ガロンニシテ生産高千七百磅ニ上レリ

肉類及魚類ノ冷藏業モ相當發達シ濠洲ノ國情トシテハ輸出貿易關係上最重要ナルモノナリ、外國貿易ニ從事スル船舶モ各充分ナル冷藏庫ヲ設備ス、製冰、罐詰等ノ工業モ總テ冷藏業ニ關係ヲ有スルモノニシテ總工場數三百四十四、生

產高千百四十萬磅ニ上リ冷藏肉ノ輸出、牛肉一億五千三百萬封度、羊肉ハ一億六千七百萬封度、兔肉四百萬封度、其他千三百萬封度ノ多キニ及フ

ビスクエット、菓子製造モ盛ニシテ生產高三百六十萬磅、菓子六百萬封度ニ達ス其他ジャム製造、果物貯藏モ大戰ニヨリ發達シ輸出モ增加セリ最近多少衰退ノ傾向ニアルモ相當量ヲ太平洋諸島及南洋ニ輸出ス菓子製造ハ當地ノ保護政策ノ爲長足ノ進歩ヲナセリ

## 小麥粉製造業

ニュウ、サウスウエルズ州及ピクトリア州ニ發達シタル南濠洲ニモ盛ナリ工場數百八十四、全生產高千五百萬磅約百萬噸ナリ、最等小麥粉ハ國內ニ於テ消費セラルルモ近時南洋、太平洋諸島ノ輸出量相當多額ニ達ス、シドニーノブルントン商會、メルボルンノスワルトン、エンド、アリエル等ハ製粉會社ノ有力ナルモノナリ

## 製糖工業

甘蔗ノ栽培ト共ニ殆トクインスランド州ニテ發達シ製造高三十萬噸、九百三十萬磅ニ達ス近時政府ノ保護ト相俟テ進歩著シク合同的大工場ニ移リツツアリテ工場數四十一ニ達ス、政府ハ戰時政策トシテ製糖管理ヲ一九二三年六月迄行ヒ爾來有色人製造砂糖ノ輸入ヲ二箇年間行フコトヲ條件トシテ原料砂糖ヲ順當二十七磅内ニテ精糖工場ニ供給スルコトシテ製糖業者ヲ保護シ小賣砂糖ハ一封度四片半トシテ消費者ヲ助ケ更ニ輸出品中砂糖ヲ使用スル製造家ニモ特別割引ノ便宜ヲ與フルコトセリ、從ツテ外國ヨリノ砂糖輸入禁止ハ一九二五年六月末迄繼續シ其後ハ關稅ニヨリ保護ヲ受ケシムル方針ナリト、國內製造高ハ消費需要ニ對シ年均五萬噸ノ不足ナルヲ以テ特ニ瓜哇又ハフエジー島ヨリ輸入ヲ許容セラレ居レリ精糖工場ハ各州ヲ通シ六ヲ算ス精製糖高二十八萬噸約千二百萬磅ニ達ス

## 醸造業

ビール製造ハ最近大工場組織トナレリ工場數六十一、製造高六千八百萬ガロン、價格六百八十萬磅ニシテ國內消費高ハ一人當リ十一・五ガロンナリ、ビール製造ハ、ピクトリア及ニユウ、サウスウエルズ州ニ多キモ酒精製造ハ南濠洲ニ盛ナリ、葡萄酒製造工場ハビ州、ニ州ノミニテ製造工場七十、千萬ガロンニ達シ價格八十萬磅ナリ

ウイスキー、ラム、ブランデー等全濠ヲ通シ相當製造セラレ工場數四十六、製造高四百萬ガロン、價格六十萬磅ナリ

## 製革工業

濠洲ノ農牧原料品ヲ使用スル工業中重要ナルハ本業ニシテ從來ハ粗製皮革ニ過キサリシモ近時精巧ナルモノ製造セラルニ至リ工場數百六十三ヲ算ス原料トシテハ羊皮最多ク從テ Sole Leather ハ輸出增加シ三百五十萬磅其他合計製造八百萬磅ニ達ス多クハ英國及支那向ニシテ最モ精巧ナル Fancy Leather ハ尙米國ヨリ輸入セラル

## 煉瓦工業

濠洲ニハ煉瓦、屋根瓦ニ適當ナル粘土ノ產出多キ爲煉瓦工業ハ各地ニ其發達ヲ見、特ニニユウ、サウスウエルズニ於テ著シク窯モ精巧ナルモノアリ今日ハ戰後ノ發達ト共ニ當地消費量ヲ充シ得ルニ至リタリ同州ニハ州立製煉工場アリテ官廳ノ使用ニ當テ一部ヲ拂ヒ下ク、價格ハ二磅十志、一磅十三志及四磅六志ノ種類アリ

## 煙草製造業

シガーリ、シガレット其他煙草製造ハニユウ、サウスウエルズ州及ピクトリア州ニ發達シ工場二十九、價格六百七十萬磅ニ達ス煙草製造ハ大ナル進歩ヲナシタルモ當地ノ原料煙草ノ製造高ハ僅ニ百二十五萬封度ニ過キシテ千五百九十万封度ハ米國其他ヨリ輸入セラル

## 石鹼及蠟燭製造業

兩者ハ同一工場ニ於テ製造セラレ原料トシテタロー、アルカリ、椰子油ヲ使用シ石鹼ノ製造高八百萬磅ナルモ輸出スルニ至ラス、上等石鹼ハ尙輸入セラレツツアリ

## 家具類製造業

工場數七十六ニシテ使用労働者一萬人ヲ算シ生產高四百五十萬磅ナリ各種家具、木細工或ハ玉突卓子ノ製造ニシテ當地ニテハ早クヨリ發達シ殊ニピクトリア州ニ著シ

## 製造品工業總生產額（單位磅）

	自一九一八年 至一九二三年
一九一八年 一九一九年	二四九、〇五六、八八八
一九一九年 一九二〇年	二九二、五三六、六〇八
一九二〇年 一九二一年	三一三、九九三、〇八三
一九二一年 一九二二年	三一〇、三四〇、七六五
一九二二年 一九二三年	三二六、四九〇、一三六

## 產業別製造工場數（自一九一八年至一九二二三年）

產業別	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
農業及畜產品	七八九	七九九	七七二	七六二	八一〇	八一〇
油脂	八八	九二	九一	九九	九七	九九

硝子及土器	六四三	六七〇	七〇七	七三六	五〇
木製品	一、七六二	一、九一二	二、〇五三	二、一〇三	二、二三六
金屬及機械	一、八七二	一、九七四	二、一三三	二、一八一	二、三四九
食糧並飲料品	一、四二〇	一、四二七	二、四五三	二、五三九	二、六三五
衣服並纖維製品	三、一五五	三、三一	三、四九九	三、八九三	四、一二五
書籍並紙	一、二二〇	一、二四七	一、二五九	一、三一三	一、三四七
音樂器具	三一	三七	四三	四五	五九
武器及爆藥	一七	一七	一四	一四	七八二
車輛並馬具類等	一、四四九	一、五四	一、六三四	一、九一三	七八二
造 船	七六	七九	八一	八一	七三六
家 具 及 寢 臺	七四三	八一七	九一六	一、〇一〇	二、二三六
藥品並化學品	二七三	二九三	三〇五	三一三	二、三四九
科 學 器 械	七二	七一	七七	三一七	二、六三五
寶 石	一九四	五一五	二三三	二四五	四、一二五
皮 革	五〇五	二一五	二四七	八一	二、六三五
照 明、加 热 及 動 力	八三	九三	五六三	五九〇	二、二二五
皮	一九六	二〇七	一〇一	一一八	一、九一三
Minorware.			二一五	二四五	五九
總計	一五、五八八	一六、二九一	一七、一三	一八、〇三	一九、一七三

各種產業別生產高及輸出高  
自一九一六年一月至一九二三年一月

農業別	生産高	對スル割合	輸出高	對スル割合	輸出高	對スル割合	輸出高	各產業輸出高 ノ生産額割合	各產業輸出高 ノ生産額割合
農 產	七箇年間	總生產高ニ	七箇年間	總輸出高ニ	七箇年間	總輸出高ニ	七箇年間	各產業輸出高 ノ生産額割合	各產業輸出高 ノ生産額割合
牧 產	五三、〇〇七	三・三	一八七、六三	三・八	三八	三・八	三八	二、二三六	二、二三六
乳 鑄	五五、七八八	三・〇	三五、五〇九	三・六	三六	三・六	三六	一、九六	一、九六
林 產	三七、八九一	二・九	毛、七三	二・三	二三	二・三	二三	一、九六	一、九六
及 漁 產	一四、四〇三	六・八	九、四六	一・二	一二	一・二	一二	一、九六	一、九六
原 料 品	一、六一、三二七	六・六	九、二三	一・一	一一	一・一	一一	一、九六	一、九六
總 生 產 額	六九、五〇六	七〇・六	七四、三五九	七・三	七三	七・三	七三	一、九六	一、九六
製 造 品	二九・四	四三、四五五	一〇〇・〇	五・五	五五	四・五	四・五	一、九六	一、九六
畜 牧 產	二八、七七	七八、七五	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一、九六	一、九六
業 別	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一、九六	一、九六
種 產 額	一〇、六七、七七	一〇〇	三五、六四	三五	三五	三五	三五	一、九六	一、九六
總 產 量	四三、〇五、五六	一〇〇	三三〇、五五	三三	三三	三三	三三	一、九六	一、九六
業 別	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一、九六	一、九六
種 產 額	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一九一三年	一、九六	一、九六

乳	產業	三、八四、七四	一〇	一〇、九三、〇二	二八五	七、九五、七五四	二〇七
鑄	業	一四、七二、三三	一〇	九、三五、三二	一七	一、〇五、八九	一九
漁	業	四四、八九	一〇	四三、五三	一〇三	四四、三五	一〇七
林		一、一〇六、四九	一〇	一、三七〇、充一	一二五	一、一八一、六六	一五七
原	品總生產額	七三、八三、四五	一〇	二八、七五、三四	一六三	一〇、六五、五五	一五三
製	造品	二、三四、充三	一〇	四、七七、六八	二〇七	四、二四、七七	一九一
總	計	五、一三八、一四七	一〇	二三、四八七、五二	一四	二四、七一、三〇九	一五五

#### 第四 濠洲ニ於ケル關稅

濠洲ニ於ケル戰後ノ貿易政策ハ幾多ノ方面ニ表示セラレタルカ最重要ニシテ且ツ問題トナルハ新關稅政策ナリトス、由來濠洲ハ其ノ傳統政策タル白濠主義ノ下ニ將タ又、勞働者ノ勢力著シキニ伴フ各種產業保護ノ見地ヨリ濃厚ナル產業保護政策ヲ執リツツアリタルモノニシテ一九二一年濠洲政府ハ戰時來ノ收入不足ヲ補フタメ並ニ各種工業發達ニ伴ヒ關稅法ニ一大改革ヲ加ヘ新法ヲ發布セリ、該法ハ幼稚產業ノ爲ニ一般稅率ヲ向上セルノミナラス、英本國ニ特惠稅率ヲ許シ各英國自治領ニ相互主義ニ基キ特惠稅率ヲ適用スルノ主義ヲ確立セリ然シテ新關稅法ニ於テハ更ニ停止稅率ヲ設ケ本法施行後一定期日ニ至リ濠洲產業ノ保護ヲ必要トスル時ハ右停止稅率ヲ實行稅率トシ以テ著シキ重稅ヲ輸入品ニ課スルノ制度ヲ採レリ、然シテ一九二一年末新關稅法ニ並行シテ不當廉賣法ヲ規定シ濠洲諸產業ニ對スル諸外國商品殊ニ獨逸品ノダンピングヲ防止セントセリ

即チ濠洲ノ關稅制度ハ特惠關稅、停止關稅、不當廉賣稅ノ特殊ナル障壁相錯綜シ殊ニ英國及其屬領產商品カ大體ニ於テ通常稅率ノ三分ノ二ニ當ル特惠稅率ヲ享有スルノ事實ハ英國ヲシテ濠洲貿易ノ霸者タラシムルモノニシテ、諸國商品ヲ其ノ勢力下ニ置クモノナリ此間ニ介在シテ本邦商品ノ如キハ何等ノ特惠ヲモ受クル能ハス極メテ不利ナル狀態ニアリ近時中間稅率適用ヲ要求スヘシトノ說屢々稱道セラルハ蓋シ故ナキニ非ルナリ

以下各種關稅ニツキ概述スル處アラントス

##### (一) 一般關稅及稅關規則

濠洲關稅ノ稅率ハ大部分從量ナルモ從價稅ニ據レル物品又多數ナリ其ノ稅率ハ酒精類九〇%、煙草及附屬品ヲ最トシリ時價即チ輸出港本船乘リ値段ニ其ノ一〇%ヲ加算シタルモノニヨル、價格ノ證明ハ通關手續ニ際シテ真正ナル送狀ノ呈出及稅關吏ノ面前ニ於テ所有者ノ署名セル申告ニヨリテ之ヲ行フ、然シテ稅關吏ハ送狀ニ通關ノ認印ヲ與ヘ物品稅關當局者若シ送狀面ニ記載セル物品ノ申告價格ノ正否ニ就キ疑義ヲ抱ク場合ハ専門家ニヨリ之力評價ヲ行フヘキコトヲ規定シ同時ニ若シ稅額若クハ稅率或ハ關稅ノ賦課ニ對シ異議ヲ生シタル場合ハ物品所有者ハ條件附ヲ以テ一先ツ關稅收稅官ノ要求金額ヲ支拂ヒ置キ爾後其全部若クハ一部返還ニ對シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルナリ

##### (二) 對英國商品特惠關稅

英帝國特惠關稅問題ハ一八九九年加奈陀カ英本國ヨリノ輸入品ニ對シテ特ニ稅率ヲ輕減セルニ始リ、爾來、英本國及各自治領間並ニ自治領相互間ニ行ハルルニ至リ、一九〇七年ニハ濠洲モ其ノ範ニ倣フコトトナレリ、現在ニ於テ濠

洲ハ英本國トノ特惠ノ外南ア及新西蘭間ニ特惠ノ協定アリ然シテ是等特惠稅率ハ通常稅額ノ三分ノ二見當ニアルモノナリ

英帝國特惠稅率ノ利益ニ均霑シ得ヘキ物品ノ種類ヲ決定スルニ當リ合衆王國製品ナル語ハ英本國以外ノ箇所ニ於テ一部製作ヲ施シタル物品ニ對シテモ之ヲ適用スルモノ該品ハ英本國ニテ完製セラレタルモノナルヘク且ツ之レカ製作ニ關與シタル英國ニテノ勞務ノ總割合ハ少クトモ物品總工費ノ四分ノ一ニ當ルモノトセリ物品ノ全然英國製タル場合ニハ特惠稅率均霑ノ爲メ英國勞銀ノ割合測定ハ不要ナリ更ニ商品ノ特定稅率ノ下ニ認許ヲ見ン爲ニハ英本國ヨリノ直接荷積タルコトヲ要シ、若シ積換品タル場合ナリトセハ英本國積出ノ後該物品ニ對シ何等製作上ノ手續ヲ施ササル旨ヲ満足ニ立證シタル文書ノ提出ヲ必要トセリ

#### (三二) 停止關稅(Deferred Duties)

濠洲現行關稅法中ニ挿入セラレ居ル停止稅率ハ戰時並ニ戰後ノ經濟的發展ニヨリ發生セル濠洲產業及將來必要ナル產業ヲ保護獎勵スルノ目的ヲ以テ一般關稅公布期以後ニ於テ一定品目ニ對シ將來該新工業カ濠洲ニ於ケル需要貨物ヲ充分ニ供給シ得ト認定セラレタル時期ニ於テ是等品目ニ對シ極メテ高率ナル稅率ヲ實施セントスルモノナリ

戰後濠洲ニ於テハ新企業勃興シ之ニ保護ヲ與フルニ於テハ新資本ヲ投セントスルモノ莫大ナルヘキノ好機ニ際會セルヲ以テ政府ハ之カ助長策トシテ保護ノ程度ヲ關稅率ニヨリ一般ニ周知セシムルノ妥當ナルヲ認メ停止條件的ニ効力ヲ發生スル稅率ヲ定メ其程度ヲ知ラシムルニ至リタルモノナリ然モ事將來ニ屬スルヲ以テ其期日ニ至リ新企業カ其ノ被課稅品ニツキ滿足ナル品質相當ナル數量ヲ生產セサルニ於テハ稅關長ノ認定ニヨリ停止稅率ヲ尙定期日延期シ得ルコトトセリ、即チ本稅率ノ本質ハ一時的ナルコトハ明ニシテ豫メ關係企業會社ノ申込ミト政府ノ產業獎勵方針トニ

ヨリ稅目ヲ決定シ保護ノ方針ヲ立ツルト共ニ、他面稅率ノ固定的不融通性ヲ除去セントマ設ケラレタルモノナリ  
今本稅率ノ實施成績ヲ見ルニ當時政府ニ於テ提出セル停止稅率課稅品目ハ二十一項三十五品目ノ多キニ達シ其ノ一部ハ今日ニ至ル迄當初ノ所定期日ニ於テ或ハ一時延期ノ後實施セラレタルモ過去三ヶ年間ニ於テ尙未實施ノ品目八十數種ヲ餘シ居レリ關稅委員會ノ意見ニヨレハ將來ニ於テ全部實施ヲ見ルヘキ望十分ナリト

#### (四) 濠洲不當廉賣法

濃厚ナル產業保護政策ヲ執リツツアル濠洲政府ハ一九二〇年ノ關稅法ト併行セシメ一九二一年不當廉賣法ヲ規定シ不當廉賣防止ニ關スル施設ニ最モ力ヲ注キ其ノ取締ヲ峻嚴ニシ戰後列國ニ於ケル經濟的恢復及各國ニ於ケル一般的現象タル貨幣價值ノ下落ニヨル海外商品ノ濠洲市場ニ侵入スルヲ抑壓セントセリ

本法ハ濠洲產業ニ對スル諸外國商品ノダ・ンビングヲ防止シ其ノ稅率ハ關稅委員會ノ決定ニ基キ 一、公正ナル市價ヨリ安價ナルモノ 二、生產費ニ對照シテ比較的安價ナルモノ 三、相當ノ賣價ト見做サレサルモノ 四、相當運賃ヲ支拂ヒ居ラスト認メラルモノ 五、爲替相場ノ低下ノ爲相當賣價ヨリ安價ナルモノ 六、爲替相場低下ノ爲英國品ヨリ安價トナレルモノ 七、爲替相場ノ下落ニヨリ使用原料安價ノ爲其ノ完成品濠洲貨物ヨリ安價ナルモノ等ハ總テ本法ノ下ニ立チ右事情ヨリ受クル利益ヲ課稅ニヨリ剝奪セラルルコトトシ即チ不當廉賣稅、爲替廉賣稅等ヲ設定セルモノナリ

同法第四條ハ不當廉賣ヲ規定スルモノニシテ

第四條(一)稅關長ハ關稅委員ノ審查及報告ニヨリ濠洲ニ於テ生產又ハ製造セラルル貨物ト同種ノ外國品カ其ノ船積ノ時ニ於ケル公平ナル市價ヨリ廉價ナル價格ヲ以テ濠洲輸入業者ニ對シ既ニ販賣セラレ又ハ現ニ販賣セラレアルコト

ヲ發見シ是ニ因リテ濠洲産業カ危害ヲ被ルノ虞アリト思惟シタル時ハ品種ヲ定メ右ノ事實ヲ官報ニ告示スルコトヲ得

(一) 前項ノ告示ニ基キ該輸入品ニ對シ特別關稅ヲ賦課徵收ス、本條ニ規定スル特別關稅ハ之ヲ不當廉賣稅 (a dumping duty) ト稱ス

(三) 不當廉賣稅ハ船積ノ時ニ於ケル公平ナル市價ト輸出價格トノ差額ニ相當スル金額トス  
但シ輸入業者ノ船積前六ヶ月内ニ於テ貨物ヲ買入レ其後船積ノ時迄ニ市價昂騰シタルコトヲ滿足ニ證明スル場合ニハ買入ノ時ノ公平ノ市價ヲ以テ標準トス

(四) 左記貨物ニ對シテハ不當廉賣稅ヲ免除スルコトヲ得

イ、大臣カ關稅委員ノ報告ニ依リテ該貨物カ濠洲内ニ於テ充分ナル生產額ナク從ツテ商取引類似ノ狀況ニ於テ總テノ購入者カ同等ノ條件ニ依リテ買入ヲ爲シ得サルコトヲ認メタルモノ

ロ、輸出價格ト公平ナル市價ノ差額カ後者ノ五分ヲ超ヘサルモノ

ハ、同種類品ノ販賣ノ爲ニスル商品見本

同法第八條ハ爲替不當廉賣ヲ規定ス

第八條(一) 大臣ハ關稅委員ノ審査及報告ニヨリ貨物カ其輸出國若シクハ原產國ノ通貨下落ノ爲濠洲產業ニ危害ヲ及ス虞アル價格ヲ以テ濠洲輸入業者ニ對シ既ニ販賣セラレ又ハ現ニ販賣セラレツツアルコトヲ發見シタル時ハ本條ノ規定ヲ適用スルノ必要アリト認メタル國及貨物ヲ定メ官報ニ告示スルコトヲ得

(二) 前項ノ告示ニ基キ該告示中ニ指定セラレタル國ノ指定セラレタル生產品及輸出品ニ對シテハ別表ニ定ムル特別

#### 關稅ヲ賦課徵收ス

然シテ本法第八條ニヨル爲替不當廉賣稅ハ所謂 Dumping exchange duty ト稱セラルモノニシテ一國ノ貨幣價值ノ下落ニヨリ當該國ヨリノ商品輸入カ濠洲產業ニ有害ナルニ於テハ課稅セントスルモノナリ、最近本邦圓貨ノ世界市場ニ於ケル價值下落ハ稍モスレハ本條ノ適用ヲ受ケントスルノ傾向ニアリ

然シテ圓貨ニ對スルダンビング防止法適用ニ關シテハ濠洲ニ生產ナキ貨物ニ對シテハ適用ナキモ、然ラサルモノニハ必要ニ應シ關稅委員會ノ公開審議ヲ以テ第八條ニヨル告示ヲ以テ將來各製品ニ付キ發表スルコトアルモノナリ、濠洲稅關長ノ謂ア處ニ依レハ該爲替率ハ日本生產品カ濠洲向輸出セラレタル日ノ倫敦、日本間ノ電信爲替相場ニヨリ之ヲ定ムルモノニシテ該率ハ關稅總監ニ於テ毎日發表スルモノトス、然シテ一九一五年三月二十五日附ヲ以テ第八條ヲ本邦圓貨ニ適用スル告示發布セラレ倫敦、本邦間ノ銀行爲替率一磅ニツキ十二圓以上十四圓以下ナル時ハ八分五厘、十四圓以上十六圓以下ナル時ハ一割五分ノ關稅ヲ特別ニ課稅スヘク爲替率十六圓以上ハ課稅率ヲ累進的ニ増進セシム、從ツテ十二圓迄ニ下落セル時ハ本告示適用ナキモノナリ

現在ニ於テハ本邦商品ニシテ第八條ニヨル告示ニヨリ指定セラレタルモノ未タ存在セスト雖モ利害關係人ノ申請ト關稅委員會ノ意見ニヨリ必要ニ應シ本稅ヲ本邦商品ニ適用セラルノ危險ヲ有スルモノナリ

最近ニ至ル迄ニ於テ等八條ニヨリ貨幣價值ノ下落セル國ト認メラレタルハ獨逸、伊太利、佛蘭西、白耳義、西班牙、墺太利、ユーゴースラヴィア、チエツコスロヴアキア、ルクセンブルグ等ニシテ是等諸國ヨリノ輸入品中洋琴、旅行用バツク、ケース、炭化カルシュウム、繡子、覆靴、ブランデー、次亞硫酸曹達、旋盤、鐵マツチ、白熱瓦斯マントル、人造絹絲不クタイ、刷子製品等ニ對シテハ爲替不當廉賣稅賦課セラレタリ、尙一九二一年十二月本產業保

讓法實施以來一九二四年ニ至ル迄ニ各國品中本法ノ適用ヲ受ケタルモノハ獨逸品ピアノ、刷子、硝子器、電氣器具、織物類等百九十九品、チエツコ、スロヴアキア十九品、塊國十二品、白國六品、英本國十八品、米國十八品、其他各國ニ亘ルモノセメント、衣類、織物、炭化カルシユウム、安全燐寸、クラフト紙等ナリ

## 第五 最近ニ於ケル濠洲ノ金融及爲替市況

一九二四年末ニ於ケル濠洲ノ金融及爲替市場ノ概況ヲ説述セん、上半期ニ於ケル小麦、羊毛ノ輸出增加ニ伴ヒ數箇月ニ亘リ輸出資金ノ逼迫ヲ訴フル處アリシ金融市場ハ十月中旬ニ至リテ極度ノ梗塞ヲ來シ倫敦向羊毛手形ノ金額ハ羊毛競買高ノ一小部分ニノミ限ラレタルタメ羊毛市價ノ下落ハ勿論、一時ハ競買ヲ延期セサルヘカラサルノ状勢ヲ呈セリ、然シテ銀行側ニテハ手形資金ノ缺乏ニヨリ買付相場ヲ引上ヶ六十日拂手形百磅ニツキ九十二志ノ割引ヲナササレハ之ヲ買取ラサルニ至レリ

元來羊毛、小麥資金ノ缺乏ハ一九二四年度初ヨリノ問題ニシテ、銀行、生産者、仲買人ノ間ニ種々交渉ヲ見タル處ナルカ銀行側ニ於ケル爲替相場率ヲ通覽スルニ右資金缺乏ニヨル騰貴ヲ示シテ餘アリ、即チ左ノ如シ

### 倫敦宛六十日手形銀行割引率

Bank's Buying rate of 60-days Bill on London

年	次	百 磅 = 付
一九一三年十月		111・6志
一九一四年九月		115・〇

一九一五年五月	一七・六
一九一六年一月	一一一・六
一九一七年五月	三一一・六
一九二〇年八月	三七・六
一九二〇年十月	四〇・〇
一九二一年十二月	三一・六
一九二二年二月	一七・六
一九二四年一月	一一〇・〇
一九二四年二月	一一五・〇
一九二四年三月	三〇・〇
	三五・〇
	四〇・〇
	四二・六
	四五・六
	五二・六
	五七・六
	六二・六

8

九五 月旦  
七七六

十一月九一零

右座題ノ原因ヲ考多キニ是重大ナリハ所謂テニシテ「貿易」ノ不足ニ基テ、即チ一度農産、畜産物ノ出荷額ノ入  
ルキ一時資金ノ需要激増之方仕合又ハ調節、方法不充分ナルニヨルモノナリ。一九三四年度ノ羊毛生産額ハ以前ニ  
シテ一九三三年度ニ比シ著しく高貴如見込テト、市價騰貴矣ルト以テ前年度輸出資金ノ五〇%タク多々ノ資金ヲ要セ  
スルニ至リ、更ニ小麦ノ生産額セ良好ニシテ之行島多シノ輸出資金ヲ要スルト算定セラレ其他深淵輸出貨物ノ出荷サ  
考慮スルトキハ為替資金ノ需要ハ巨額ニ上ルナリ。然シテ右資金ノ缺乏ニ加ヘ偶々聯邦政府ノ國內公債募集中行ハレ  
カハ一層金融界ヲ硬化スルノ結果ヲ生セリ

發スルニ決定シタルモ利息六分ナルコト及内三百萬磅ニ、二百萬磅ハ七月末迄ニ回収スルヨリ  
ニ決定セル爲組合銀行ハ之ヲ利用スルノ程度ヲ局銀支ラレ餘り重大ナム好果ヲ與ヘサル如シ  
尙聯邦總理大臣ブルースハ一九二五年四月二十八日聯邦銀行主協議ノ上議院ハ英本國主事調ツ一ニシテ命ノ輸出輸入  
ヲ四月二十九日より實行ミ名實其金本位ニ復活スルコトニ決セル旨ヲ發表セリ是ハ凌洲輸出貿易爲轉手ノ國籍ヲ除ク

一一一一年一一一  
九九九九九九九九  
二二二二一一二二二  
三二一〇九三二一〇  
年年年年度年年年

一三四、一三六、九三〇  
一一八、〇〇三、一八二  
一一四、〇二九、〇七八  
一一六、八六四、一六三

五五、九四〇、六二七  
五六、一一九、七四四  
五二、二一六、六九六  
五〇、七一〇、一六八

四一、七〇  
四三、八四  
四二、一〇  
三九、九七

高金預行銀替爲

貸付高

金高ニ對スル  
付高ノ割合

524  
351

524  
351

終

